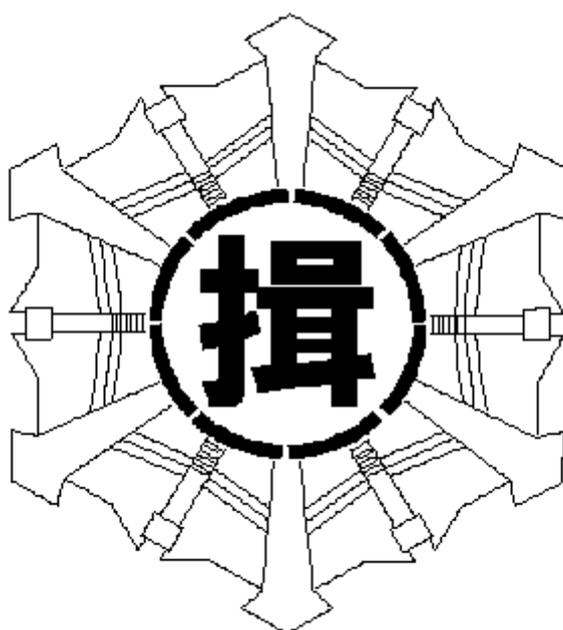


消防年報

令和7年版



揖斐郡消防組合

(令和8年刊行)

目 次

はしがき

1	位置・区域・沿革	
	消防本部の位置	1
	管轄区域	2
	消防本部のあゆみ	3～13
2	組合機構	
	組合構成町	14
	組合議決機関	14
	組合執行機関	15
	委員・委員会	15
3	予算・決算	
	歳入歳出予算額	16
	歳入歳出予算の構成比	16
	構成町予算に占める分担金の比率	17
	町別分担金の比率	17
	予算額の推移	18
	決算額の推移	19
4	消防情勢	
	消防組合・消防本部・署の組織機構	20
	歴代管理者・消防長・消防署長	21～22
	消防本部・消防署の事務分掌	23～24
	消防庁舎の概要	25
	消防施設・人員の配備状況	26
	消防水利の状況	27
	主要機械器具の配備状況	28
	配置車両一覧表	29
	高機能指令センター回線構成・消防救急デジタル無線システム系統図	30
	階級別消防職員数の推移	31
	職員の配属状況	31
	消防職員勤続年数	32
	年齢別消防職員数	33
	消防職員特技資格調	34
	消防相互応援協定の状況	35
5	予防統計	
	火災予防条例等に基づく各種届出の状況	36
	消防用設備等着工・設置の状況	37

政令で定める防火対象物の町別数	38
政令で定める防火対象物数の状況	39
用途別・工事別建築同意件数	40
月別・工事別・構造別建築同意件数	41
町別危険物施設数	42
危険物製造所等の許可・検査の状況	43
危険物仮貯蔵承認申請等の状況	43
6 火災統計	
町別火災状況	44
月別火災件数	45
曜日別火災件数	45
出火時間別火災状況	46
月別火災状況	47
火災件数の推移	48
建物焼損面積の推移	48
損害額の推移	48
原因別火災件数	49
四季別火災状況	49
町別火災発生件数の状況	50
風向別火災発生状況	51
湿度別火災発生状況	51
7 救急統計	
町別救急件数	52
月別救急件数	53
曜日別救急件数	53
性別・年齢別・程度別救護人員	53
救急件数の推移	54
覚知別救急出動件数	55
時間別救急出動件数	55
救急出動件数の内訳	55
救命講習等実施状況	56
独居老人緊急通報システム通報後の処理状況	57
8 救助統計	
町別救助件数	58
月別救助件数	59
救助件数の推移	59
9 消防団・防火クラブ等	
管内消防団の消防力	60

幼年消防クラブの状況	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 1
少年消防クラブの状況	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 2

は し が き

この年報は、令和7年中の当消防組合における消防現況と併せて累年の消防状況を収録したもので、その実態を広く紹介し、各位のご理解をいただくとともに、将来の消防行政の指針とするために編纂したものであります。

尚、とくに記載してあるものを除き令和7年12月末日をもって収録しました。

令和8年3月

揖斐郡消防組合消防本部

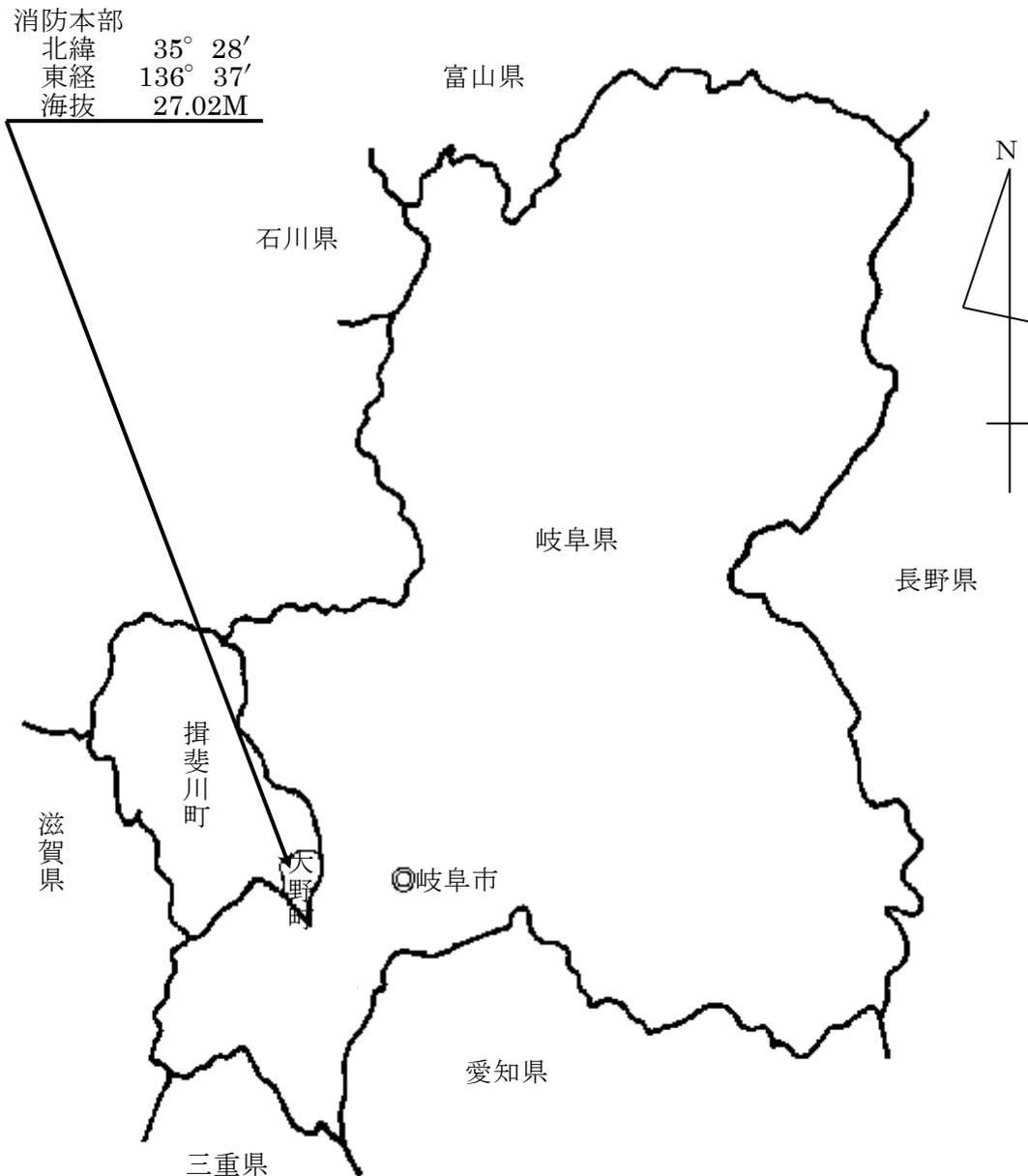
1. 位 置 ・ 区 域 ・ 沿 革

揖斐郡消防組合庁舎 防災センター



揖斐郡消防組合消防本部・署・防災センター庁舎

消防本部の位置



当消防本部は、岐阜県の西部、揖斐郡の東南部大野町に位置し、岐阜市より13km、大垣市より12kmと岐阜県の中心都市に近く、また揖斐関ヶ原養老国定公園の景観を背後に控え、悠々と千古の流れを湛える清流揖斐川とその支流根尾川に挟まれた山紫水明の地であり、付近には多くの古墳が点在し、遠く古より文化の栄えた地でもあります。

管轄区域

1. 消防本部の管轄区域は池田町を除く揖斐郡の全域である。

東西 35.3km

南北 41.4km

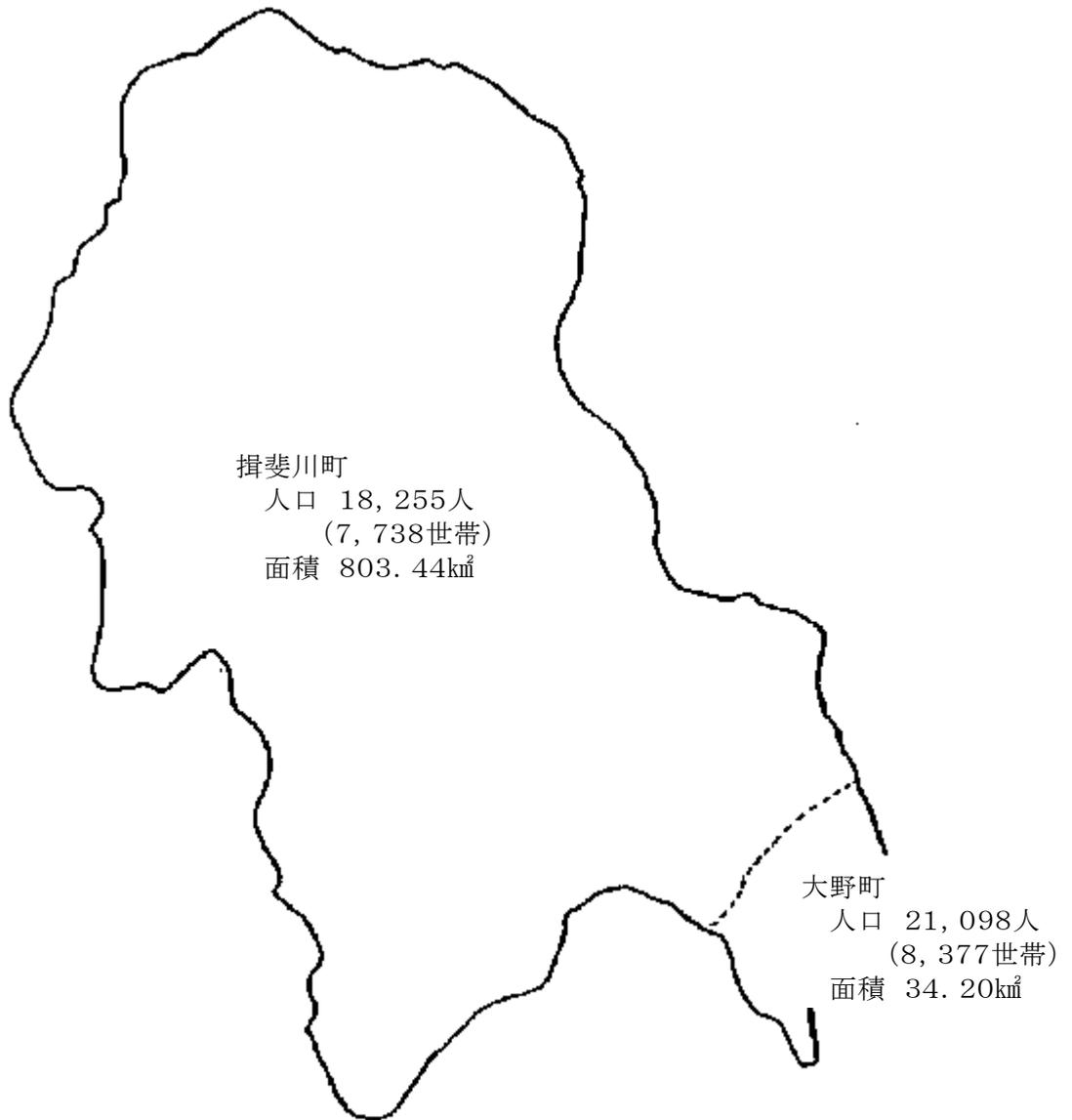
2. 管轄区域の概況は下図のとおりである。

(令和7年12月31日現在)

管内人口 39,353人

(16,115世帯)

管内面積 837.64km²



消 防 本 部 の あ ゆ み

1 昭和45年 4月 1日

- (1) 前年より広域行政の一環として、揖斐郡下の消防の広域化の計画が県事務所を通じて県より提示され、関係町村で審議された。その結果、揖斐川町、大野町、谷汲村の2町1村で「揖斐郡中央消防事務組合」を発足させるための諸準備が進められた。
- (2) 揖斐郡中央消防事務組合・消防本部・署が発足。管理者兼消防長に揖斐川町長の栗野一雄氏が就任。
- (3) 第1回組合議会を招集、組合規約、組合条例、同規則等を定めた。
- (4) 消防庁舎や、車両、各種機材等は、旧大野町消防団常備部のものを当分の間借用することとし、消防長以下20名の隊員で業務を開始した。

2 昭和45年 7月17日

日本防火協会より救急車(トヨタ・クラウン)が寄贈され、翌日より救急業務を開始した。

3 昭和45年12月14日

かねて大野町中之元地内に建設中の消防本部・署の庁舎が完成、新規購入の水槽付き消防ポンプ自動車(いすゞ無線付)及び消防ポンプ自動車(ニッサン・パトロール無線付)を配備、従来の車両を含め5車両で本格的な消防業務を開始した。

4 昭和46年 1月 5日

第1回の消防出初式が挙行される。以後、この日を当消防本部の出初式の日と定め、毎年1月5日に挙行されることとなった。

5 昭和46年 3月17日

急増する救急事故に対処するため、救急車(トヨタ・クラウン)を購入し、消防署に配備した。

6 昭和46年 8月 3日

災害現場の指揮の確立を図るため、指令車(ニッサン・パトロール)を購入、消防署に配備した。

7 昭和46年10月15日

谷汲村徳積に建設中の消防署谷汲分署が竣工、新規購入の消防ポンプ自動車(ニッサン・パトロール)と消防署にある救急車を配備、分署長以下8名の隊員を配備し、谷汲方面の警防体制を強化した。

8 昭和46年11月15日

広報車(トヨタ・コロナ)を購入、消防署に配備した。

9 昭和46年12月 3日

小型動力ポンプ(ラビット)を購入、消防署消防車に積載した。

10 昭和46年12月15日

大垣消防組合消防本部と、消防、救急業務について相互応援協定を締結し大規模災害に備える。

11 昭和47年 2月 9日

携帯無線機(1W)4機を購入、主要車両に積載配備し、現場活動の円滑化を図る。

12 昭和47年 9月30日

消防ポンプ自動車(ニッサン・パトロール)を購入、消防署に配備した。

- 13 昭和48年 8月 1日
岐阜県農業共済連合会より、救急車(ニッサン・キャラバン)の寄贈を受け、これを消防署に配備した。
- 14 昭和48年11月12日
第1回消防競練会を開催し、消防技術の向上に努める。
- 15 昭和49年 4月 1日
(1) 消防の広域化が更に推進されることとなり、名称を「揖斐郡消防組合」に改め、揖斐郡下2町6村による広域消防が発足した。
(2) 第1回組合議会を招集し、規約、条例等を改正するとともに、2分署の増設を決議した。
(3) 栗野消防長外、新規採用職員12名を含む49名の人員にて業務を開始した。
- 16 昭和49年 7月19日
栗野消防長、健康上の理由で辞職、副管理者が職務を代行。
- 17 昭和49年 9月24日
大野町長馬淵勲氏、管理者兼消防長に就任。
- 18 昭和49年11月 1日
同年8月11日揖斐川町地内の用水取入口で発生した水難事故に対する救出活動の功績により、岐阜県消防大会において、消防本部が知事表彰、出場隊員8名が県消防協会の顕功彰を受賞。
- 19 昭和49年11月11日
第2回消防競練会を開催、最少人員による消防活動の基本を確立した。
- 20 昭和49年12月 3日
(1) 消防本部の機構を改革し、条例で定められたとおりの2課制とした。
(2) かねて建設中の藤橋、春日分署が竣工、新規購入の消防車(トヨタ)、救急車(トヨタ)及び所要備品を配備し、分署長以下8名の隊員で業務を開始した。
- 21 昭和50年 2月 9日
日本自動車工業会より救急車(トヨタ)の寄贈を受け、これを藤橋分署に配備した。
- 22 昭和50年 3月31日
管内のほぼ中央部の権現山山腹に無線中継所が完成、管内全域での無線交信がほぼ可能となる。
- 23 昭和51年 3月31日
小川消防次長退職、内藤警防課長が翌月4月1日付で就任。
- 24 昭和51年12月11日
救助工作車(いすゞ)を購入、消防署に配備した。
- 25 昭和51年12月25日
本巢消防事務組合消防本部と消防、救急業務について相互応援協定を締結した。
- 26 昭和52年 3月23日
揖斐川バス転落事故発生(久瀬村、死者行方不明者4人、負傷者4人)、救助活動の後、一週間にわたり行方不明者の捜索活動を実施した。
- 27 昭和52年11月15日
広報車(トヨタ・2000cc)を更新配備した。

- 28 昭和52年12月28日
揖斐川町房島の製材工場より出火、隣接の上善明寺など延べ1, 311㎡を焼失した。
- 29 昭和53年 8月 4日
消防本部・署庁舎の空調設備が完成した。
- 30 昭和53年11月10日
指令室に救急指令装置(B型)を導入、迅速的確な通信体制の確立を図る。
- 31 昭和53年12月27日
消防本部旗を製作、設置された。
- 32 昭和54年 4月 1日
管理者が消防長の職を辞任、同日付で内藤次長が消防長に就任。
- 33 昭和54年 9月 8日
予防査察車を更新(ニッサン・1400cc)した。
- 34 昭和54年11月10日
(1) 水難事故対策用として、大型ゴムボート(8人乗り、30馬力船外機付)を購入、消防署に配備した。
(2) 管内にある自主防火組織の健全な育成と防火思想の向上を期し、「揖斐郡少年婦人防火推進委員会」が発足、会長に消防長が就任。
- 35 昭和55年 4月 1日
消防吏員の条例定数が65人に拡大された。
- 36 昭和55年11月 7日
発足10周年記念式典が挙行される。
- 37 昭和56年 2月25日
第1回消防職員意見発表会を開会。以後、毎年実施され消防職員の資質の向上に努める。
- 38 昭和56年 3月20日
消防本部訓練場(敷地1, 804㎡ 防火水槽付)が完成。
- 39 昭和56年 8月 5日
資材輸送車(いすゞ2t 車)を購入、消防署に配備した。
- 40 昭和56年10月20日
訓練場内に訓練塔(地上高19メートル)が完成。
- 41 昭和57年 2月28日
管理者馬淵 勲氏辞任、副管理者林正一氏が職務を代行し、翌月3月24日付で管理者に就任。
- 42 昭和57年 9月25日
日東あられ株式会社より救急車購入資金として500万円の寄贈を受けたため、救急車(トヨタ・1960cc)を購入、消防署の車両を更新した。
- 43 昭和57年10月19日
日本防火協会より防火広報車(ニッサン・1950cc)が揖斐郡婦人防火連絡協議会に寄贈され、消防署に配備した。
- 44 昭和58年 5月31日

- 内藤消防長が退職、後任として井深総務課長が翌6月1日付で消防長に就任。
- 45 昭和59年10月31日
水槽付き消防ポンプ自動車(Ⅱ型、日野)を購入、消防署に配備した。
 - 46 昭和59年11月 1日
滋賀県の伊香郡消防組合消防本部と消防、救急業務について相互応援協定を締結。
 - 47 昭和59年11月 2日
日本自動車工業会より救急車(トヨタ・1960cc)の寄贈を受けたため、谷汲分署車両を更新した。
 - 48 昭和60年12月 6日
管理者林正一氏病気により逝去、副管理者鳥本安治氏職務を代行。
 - 49 昭和61年2 月13日
大野町長鳥本安治氏、管理者に、揖斐川町長香田定雄氏、副管理者にそれぞれ就任。
 - 50 昭和61年 3月31日
災害時における迅速的確な応急対策を目的とした、県防災行政無線局の端末機を指令室に設置した。
 - 51 昭和61年 3月31日
無線基地局(10W)2機、移動局(25W)5機、携帯局(1W)2機をそれぞれ更新配備した。
 - 52 昭和61年11月19日
揖斐川ライオンズクラブより救急車(トヨタ・1960cc)の寄贈を受けたため、消防署の車両を更新した。
 - 53 昭和61年11月28日
消防ポンプ自動車(三菱・CD-I型・4WD)を購入、消防車両を更新した。
 - 54 昭和62年2月27日
徳山村が藤橋村に編入合併し管内2町6村から2町5村となる。
 - 55 昭和62年 7月20日
副管理者香田定雄氏病気により逝去。
 - 56 昭和62年 9月 6日
揖斐川町長宗宮次郎氏、副管理者に就任。
 - 57 昭和62年10月31日
消防署事務室を68.89㎡増築した。
 - 58 昭和63年 5月 1日
指令車(トヨタ・ランドクルーザー57年式)を藤橋村より寄贈を受けたため、更新した。
 - 59 昭和63年 8月 2日
日本防火協会より防災用緊急伝達器材として、携帯無線電話機(1W)10台と携帯拡声器2台の寄贈を受けた。
 - 60 平成 元年 3月31日
井深消防長退職、八木次長が翌4月1日付で、消防長に就任。
 - 61 平成 2年 2月15日
日本損害保険協会より救急車(トヨタ・2800cc4WD)の寄贈を受けたため、藤橋分署車

両を更新、同時に同型の車両1台を購入し、春日分署車両を併せて更新した。

62 平成2年12月6日

救助工作車Ⅱ型(日野・7412ccクレーン、ウインチ付)を購入、更新配備した。

63 平成 3年 3月31日

八木消防長が定年退職、内藤次長が翌4月1日付で消防長に就任。

64 平成 3年10月 1日

(1) 消防本部・署庁舎を全面補修した。

(2) セフティー66達成(以前から全職員66名の無事故を願って、交通安全運動を展開中であったが、全員が1年間無事故無違反を達成した。)

65 平成 3年11月17日

揖斐川ライオンズクラブより救急車(トヨタ・2800cc・4WD)の寄贈を受け、これを消防署に配備した。

66 平成 3年12月18日

藤橋・春日両分署の消防車(トヨタ・CD I 4WD・動力昇降装置・ホースレイヤー)を更新配備した。

67 平成 4年 4月 1日

消防本部の機構を一部改正し、消防本部に予防課を設置、3課1室とした。

68 平成 4年 8月30日

岐阜県広域総合防災訓練が揖斐郡下各所で実施され、当本部もこれに参加した。

69 平成 4年10月22日

福井県の南越消防組合消防本部と消防相互応援協定を締結した。

70 平成 4年11月11日

美濃大野ライオンズクラブより予防広報車(スズキ・4WD)2台の寄贈を受け、これを消防署に配備した。

71 平成 4年12月15日

谷汲分署の消防車を更新(三菱・CD I・4WD・動力昇降装置・ホースレイヤー)を配備した。

72 平成 5年 3月20日

消防本部指令室に緊急通報システム受報装置を設置、独居老人宅からの非常受報と連絡体制が確立した。

73 平成 5年 8月20日

救助隊障害突破チームが東海地区指導会を初制覇、北九州市において開催された全国救助大会に初出場を果たした。

74 平成 5年 8月31日

小型消防救助艇(1t級)を藤橋分署に配備、水難、山林火災等に対する活動体制を強化した。なお、同艇輸送車を森田ポンプ(株)より寄贈を受け併せて同分署に配備した。

75 平成 6年 2月28日

管理者 鳥本安治氏辞任。

76 平成 6年 3月 1日

揖斐川町長栗田登氏、管理者に、大野町長杉山茂氏、副管理者に就任。

- 77 平成 6年 8月18日
(1) 日本消防協会より消防指令広報車(三菱・R-CB2V、リベロ・カーゴバン)の寄贈を受け、これを消防署に配備した。
(2) 第23回全国消防救助大会にはしご登はんの部で出場した。
- 78 平成 6年 9月 4日
平成6年度揖斐郡防災訓練が坂内村広瀬地区で実施され、岐阜県防災ヘリコプター(若鮎)もこれに参加した。
- 79 平成 6年10月31日
谷汲分署事務室を増築(10.44 m²)した。
- 80 平成 6年11月14日
日本防火協会より春日村へき地保育所幼年消防クラブに鼓笛セットが交付された。
- 81 平成 7年 3月20日
岐阜県が消防防災ヘリコプター導入に伴い、県内共通波無線基地局(10W)を配備した。
- 82 平成 7年 3月31日
内藤消防長が定年退職、所消防署長が翌4月1日付で、消防長に就任。
- 83 平成 7年 8月23日
日本消防協会より救急車(ニッサン・2B型・2663ccディーゼル)の寄贈を受け、これを消防署谷汲分署に配備した。
- 84 平成 7年12月 1日
消防ポンプ自動車(日野・KC-FDIJEBA CD-2H)を購入、消防署車両を更新した。
- 85 平成 8年 3月25日
権現山無線中継所空中ケーブル設備を地中化とした。
- 86 平成 8年 3月31日
消防署藤橋分署無線基地局(10W)1基を更新した。
- 87 平成 9年 1月31日
管理者 栗田登氏辞任。
- 88 平成 9年 2月10日
大野町長杉山茂氏、管理者に、揖斐川町長下野琢二氏、副管理者に就任。
- 89 平成 9年 3月31日
所消防長が定年退職、松久次長が翌4月1日付けで、消防長に就任。
- 90 平成 9年 7月11日
揖斐郡消防組合庁舎、防災センター新築工事着工
- 91 平成 9年10月16日
社団法人、日本損害保険協会より水槽付き(2,000ℓ)消防ポンプ自動車(日野・KC-GDIGBJ4・7, 961ccディーゼル)の寄贈を受け、消防署に配備した。
- 92 平成 9年12月 2日
高規格救急車(トヨタ・ハイメディックV8・3, 378ccガソリン仕様)を購入し、消防署に配備した。なお、平成10年5月1日から運用開始した。
- 93 平成10年 3月 9日

日本消防協会より防災広報車(ニッサンステーションワゴン・1830cc)の寄贈を受け、これを消防本部に配備した。

94 平成10年 3月26日

揖斐郡消防組合庁舎・防災センター竣工。

95 平成11年 4月 1日

出動計画の見直しにより分署名を次のとおり改正した。

「谷汲分署」を「東分署」に。「藤橋分署」を「北分署」に。「春日分署」を「西分署」に。

96 平成11年 6月22日

消防緊急通信指令装置(I型)更新に伴う契約を松下通信電気産業(株)と備品購入事業として締結した。

97 平成11年 8月19日

第28回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部で出場した。

98 平成12年 3月29日

消防緊急通信指令装置(I型)が完成し、運用を開始した。

99 平成13年 2月 7日

揖斐川町長宗宮孝生氏、副管理者に就任

100 平成13年 3月 1日

財団法人日本消防協会より指令車(ニッサンテラノ・3, 200cc)の寄贈を受け、これを消防本部に配備した。

101 平成13年 3月 6日

資機材輸送車(いすゞフォワード・8, 220cc・4WD)を購入し、消防署に配備した。

102 平成13年 3月31日

松久消防長が定年退職、武藤総務課長が翌4月1日付けで、消防長に就任。

103 平成13年 7月16日

滋賀県の東浅井郡広域行政組合消防本部と消防・救急業務について相互応援協定を締結。

104 平成13年 8月 8日

第30回全国消防救助技術大会に障害突破の部で出場した。

105 平成14年 3月22日

安田生命保険相互会社より高規格救急自動車(ニッサン・パラメディック V6・3, 500cc)寄贈を受け、資機材を整備積載し北分署に配備した。

106 平成14年 7月31日

美濃大野ライオンズクラブより広報車(トヨタ PROBOX バン・GL・1, 500cc・4WD)の寄贈を受け、消防本部に配備した。

107 平成14年11月25日

ネットワーク環境設備及び庁内ラン配線工事を終了し、運用を開始した。

108 平成15年8月20日

日本宝くじ協会より、消火・通報訓練指導車(マツダ・タイタン・2, 000cc・2W)の寄贈を受け消防本部に配備した。

109 平成15年10月31日

消防署西分署の耐震補強工事を着工。平成16年3月20日完了した。

- 110 平成16年8月3日
消防本部(署)庁舎の耐震補強工事を着工。平成16年12月10日完了した。
- 111 平成17年1月31日
揖斐川町、谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村が合併し揖斐川町となり、組合の構成が揖斐川町、大野町の2町となった。
- 112 平成17年4月15日
揖斐川町長宗宮孝生氏、管理者に。大野町長杉山茂氏、副管理者に就任。
- 113 平成17年8月15日
防火広報車(トヨタ・ハイエース、9人乗り、ワゴン車2500cc)を購入し消防署に配備した。
- 114 平成17年11月1日
高規格救急車(トヨタ・ハイメディック、3378cc)を購入し消防署に配備した。
- 115 平成18年4月1日
昭和62年旧伊香郡消防組合、平成13年旧東浅井郡広域行政組合との応援協定を廃止し、新たに湖北地域消防組合と消防相互応援協定を締結した。
- 116 平成18年8月18日
防火広報車(ダイハツ・ハイゼット、650cc)を購入し消防署に配備した。
- 117 平成18年11月8日
水槽付ポンプ消防車(日野・レンジャー、6400cc)を購入し消防署に配備した。
- 118 平成19年3月31日
武藤消防長が定年退職。翌4月1日付けで宮川康太郎氏が揖斐川町役場から派遣され消防長に就任。
- 119 平成19年8月22日
第36回全国消防救助技術大会に障害突破の部で出場した。
- 120 平成19年12月7日
災害対応特殊救急自動車(トヨタ・ハイメディック、2690cc)を購入し消防署に配備した。
- 121 平成20年4月1日
新たに岐阜市消防本部と消防相互応援協定を締結した。
- 122 平成20年8月29日
第37回全国消防救助技術大会に障害突破の部で出場した。
- 123 平成20年11月8日
防火広報車(ダイハツ・ハイゼット、650cc)を購入し消防署に配備した。
- 124 平成20年12月8日
消防ポンプ自動車(CD-I型、日野・デュトロ、4000cc)を購入し消防署に配備した。
- 125 平成21年3月31日
宮川消防長が派遣を終える。翌4月1日付けで今村予防課長が消防長に就任。
- 126 平成21年8月20日
第38回全国消防救助技術大会にはしご登はんの部で出場した。
- 127 平成21年10月1日

- 携帯位置情報通知システムを導入し運用開始した。
- 128 平成22年3月29日
救助工作車Ⅱ型(日野・6400ccクレーン、前後ウインチ付)を購入、更新配備した。
- 129 平成22年3月31日
今村消防長が定年退職。翌4月1日付けで所次長が消防長に就任。
- 130 平成22年3月31日
「消防感謝祭」第59回岐阜県消防操法大会が揖斐川町の揖斐川健康広場で開催された。
- 131 平成22年5月20日
大型ゴムボート(8人乗り、30馬力船外機付)を購入、更新配備した。
- 132 平成22年8月18日
指令広報車(日産エクストレイル・1997cc)を購入、更新配備した。
- 133 平成23年1月1日
福井県大野市と消防相互応援協定を締結した。
- 134 平成23年2月9日
岐阜県ドクターヘリ運航開始。
- 135 平成23年2月17日
防災広報車(トヨタプリウス・1800cc)を購入、更新配備した。
- 136 平成23年3月16日
3月11日に発生した東日本大震災に際し、岐阜県緊急援助隊として福島県相馬郡新地町地内へ計3隊派遣。人命検索の命令を受け活動。
- 137 平成23年3月31日
所消防長が定年退職。翌4月1日付けで神原次長が消防長に就任。
- 138 平成23年7月12日
消防・救急デジタル無線システム基本設計および高機能消防指令センター総合整備事業実施設計の各事業が始まる。
- 139 平成23年9月2日
平成5年に導入した、緊急通報システム受報装置を最新の緊急通報システムセンター装置に更新配備した。一人暮らしの老人からの非常受報と連絡体制が強化された。
- 140 平成23年10月1日
財務会計システムを導入。事務の効率化が図られた。
- 141 平成23年11月22日
連絡車(トヨタプリウス・1800cc)を購入し、新規配備した。
- 142 平成23年12月15日
揖斐郡消防組合情報公開条例、揖斐郡消防組合個人情報保護条例を制定。
- 143 平成24年3月2日
消防ポンプ自動車(CD-I型、日野・デュトロ、4000cc)を購入し、更新配備した。
- 144 平成24年3月12日
高規格救急車(トヨタハイメディック・2690cc)を購入、更新配備した。
- 145 平成24年6月14日

- 運搬車（トヨタライトエース・1490cc）を購入し、新規配備した。
- 146 平成24年6月14日
防火広報車（ダイハツハイゼット・650cc）を購入し、新規配備した。
- 147 平成24年8月7日
第41回全国救助技術大会にはしご登はんの部で出場した。
- 148 平成24年12月18日
高機能消防指令センターが完成し、運用を開始した。
- 149 平成25年2月11日
消防水槽車（日野・プロフィア、8860cc）を購入し、新規配備した。
- 150 平成25年2月21日
消防ポンプ自動車（CD-I型、日野・デュトロ、4000cc）を購入し、更新配備した。
- 151 平成25年2月28日
高規格救急車（トヨタハイメディック・2690cc）を購入、更新配備した。
- 152 平成25年3月15日
消防救急デジタル無線整備事業が完成し、運用を開始した。
- 153 平成25年5月8日
北分署補強工事（耐震補強工事）を着工し、平成25年10月7日に完了した。
- 154 平成25年6月18日
東分署移転に伴う改修工事を着工し、平成25年9月26日に完了した。
- 155 平成25年8月22日
第42回全国消防救助技術大会にはほふく救出の部で出場した。
- 156 平成26年2月14日
消防ポンプ自動車（CD-I型、日野・デュトロ、4000cc）を購入し、更新配備した
- 157 平成26年2月27日
水槽付消防ポンプ自動車（日野・レンジャー、6400cc）を購入し、更新配備した。
- 158 平成26年3月6日
総務省消防庁より機動連絡車（トヨタ・ランドクルーザー200、4600cc）の無償貸与を受け、消防本部に配備した。
- 159 平成26年3月31日
神原消防長が定年退職。翌4月1日付けで鳥本消防署長が消防長に就任。
- 160 平成26年7月14日
人員搬送車（トヨタ・ヴェルファイア、2400cc）を購入し、新規配備した。
- 161 平成26年9月29日
東分署旧庁舎及びホース乾燥塔解体工事を着工し、平成26年10月31日に完了した。
- 162 平成27年1月26日
災害時用エアータント（アキレスA-66）を購入し、更新配備した。
- 163 平成27年3月20日
化学消防ポンプ自動車（日野・レンジャー、6400cc）を購入し、更新配備した。
- 164 平成27年8月7日
小型ゴムボート（4人乗り）を購入し、更新配備した。

- 165 平成28年3月31日
鳥本消防長が定年退職。翌4月1日付けで野原総務課長が消防長に就任。
- 166 平成28年10月19日
管理者宗宮孝生氏辞任、副管理者宇佐美晃三氏、職務を代行。
- 167 平成28年11月5日
消防救急アナログ無線権現山中継所撤去工事を着工し、平成28年12月6日に完了した。
- 168 平成28年11月22日
大野町長宇佐美晃三氏、管理者に、揖斐川町長富田和弘氏、副管理者に就任。
- 169 平成29年8月23日
第46回全国消防救助技術大会にはしご登はん、障害突破の部で出場した。
- 170 平成30年1月17日
高規格救急車（トヨタハイメディック・2690cc）を購入、更新配備した。
- 171 令和元年5月17日
緊急通報システムセンター装置を更新配備した。
- 172 令和元年8月25日
第48回全国消防救助技術大会にはしご登はん、ほふく救出の部で出場した。
- 173 令和2年11月20日
副管理者揖斐川町長富田和弘氏辞任。揖斐川町長岡部栄一氏、副管理者に就任。
- 174 令和3年3月31日
野原消防長が定年退職。翌4月1日付けで竹中予防課長が消防長に就任。
- 175 令和4年3月15日
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により高規格救急車（トヨタハイメディック・2690cc）を購入、更新配備した。
- 176 令和4年3月31日
竹中消防長が定年退職。翌4月1日付けで秋月総務課長が消防長に就任。
- 177 令和5年1月26日
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により高規格救急車（トヨタハイメディック・2690cc）を購入、更新配備した。
- 178 令和5年12月19日
防火広報車（ダイハツハイゼット・650cc）を購入し、更新配備した。
- 179 令和6年8月23日
第52回全国消防救助技術大会にはしご登はんの部で出場した。
- 180 令和7年1月1日
無人航空機を購入し、運用を開始した。

2. 組 合 機 構

揖斐川町

揖斐川町は、岐阜県の南西部に位置し、岐阜市から国道303号線で40分の交通至便の条件にある。とおく越美山系を源とする揖斐川・粕川の本流が山間部から濃尾平野に流れ出る扇状地に発展した町で、揖斐米や美濃いび茶の産地である。

戦国時代に美濃の中でも主要な歴史舞台のひとつになった、美濃守護であった土岐氏、その後この地を支配した斎藤氏、稲葉氏などの史跡が数多く残る。

平成17年1月31日揖斐川町に谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村の5村が合併し、新揖斐川町となった。

毎年11月に開催されるいびがわマラソンは、揖斐川町が主催し日本陸連公認コースとしては、東海3県で初めてのマラソンコースである。昭和63年に中部未来博の協賛事業としてスタートし、揖斐川の恩恵に感謝した大会は、揖斐川の清流や美しい紅葉のアピールとなった。

また、主催町のボランティアグループが大会を支え、参加者は岐阜県全域のみならず、大阪や新潟をはじめ全国から多数で、市民マラソンのアメリカ・セントジョージ市とのマラソン交流も活発に行なわれている。



◆いびがわマラソン

組 合 構 成 町

揖斐川町 大野町

組 合 議 決 機 関

当消防組合の議会議員は、構成町の町長が指名した町の職員、議会議長及び消防団長で構成されている。

現在の組合議会議員は、下の表のとおりである。

議 長	副 議 長
(1) 揖斐川町議会議長 大 西 恵 子	(5) 大野町議会議長 野 村 光 宣
議 員	
(1) 揖斐川町議会議長 大 西 恵 子	(2) 揖斐川副町長 長 屋 憲 幸
(3) 揖斐川町消防団長 野 原 徹	(5) 大野町議会議長 野 村 光 宣
(6) 大野町副町長 加 納 秀 男	(7) 大野町消防団長 山 口 タケル

議員数 6人 ()内の数値は議席番号

組 合 執 行 機 関

組合執行機関の長である管理者と、管理者を補佐する副管理者は構成町の長の互選により決定される。また、会計管理者は構成町の長の互選により組合の会計管理者となる。

組合執行機関の長等は、下表のとおりである。

管 理 者	大 野 町 長	宇 佐 美 晃 三
副 管 理 者	揖 斐 川 町 長	岡 部 栄 一
会 計 管 理 者	大野町会計管理者	藤 原 章

委 員 ・ 委 員 会

1. 監査委員

監査委員は、組合議会議員及び構成町の監査委員の中からそれぞれ1名を管理者が選任する。

現在の監査委員は、下表のとおりである。

大 野 町 監 査 委 員	岩 崎 正 人
揖 斐 川 町 消 防 団 長	野 原 徹

2. 公平委員会 岐阜県に委託

3. 予 算 ・ 決 算

大 野 町

◆バラ公園

つるバラ、フロリバンダ、ローテローゼなど 100 種類、2,000 本のバラたちが迎えてくれるロマンティックなバラの花園。遊具や遊歩道などの施設も充実しており、5月下旬から11月中旬まで花を楽しめます。



◆牧村家住宅

元禄 14 年頃の、江戸期の美濃地方における農家。柱と横架材の組み方が鳥居に似ていることから、鳥居建形式の民家として、国の重要文化財になっています。



◆来振寺

宝雲山来振寺は西美濃三十三霊場第二番札所。国宝の五大尊像をはじめ、十一面観音像や円空仏など、貴重な文化財の数々があります。



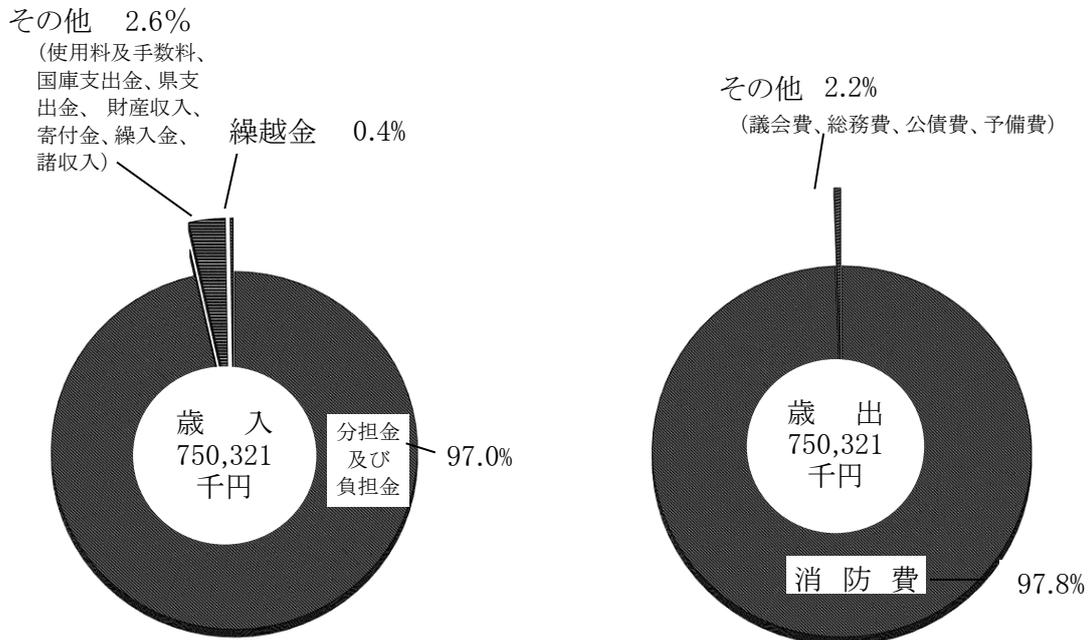
歳入歳出予算額

R7年度

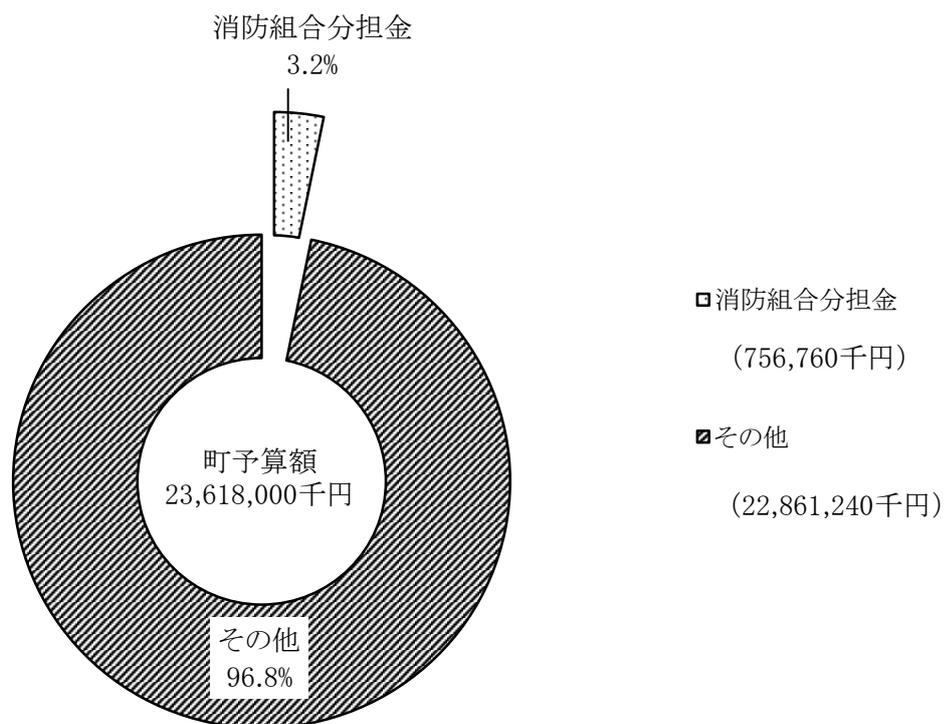
歳 入 (千円)	歳 出 (千円)
1. 分担金及び負担金	1. 議 会 費
756,760	107
2. 使用料及び手数料	2. 総 務 費
715	3,281
3. 国庫支出金	3. 消 防 費
1	779,530
4. 県支出金	4. 公 債 費
1	25
5. 財産収入	5. 予 備 費
235	1,000
6. 寄 附 金	
1	
7. 繰 入 金	
15,000	
8. 繰 越 金	
1,947	
9. 諸 収 入	
9,283	
歳 入 合 計	歳 出 合 計
783,943	783,943

(☆ 住民1人当りの消防組合予算 19,921円)

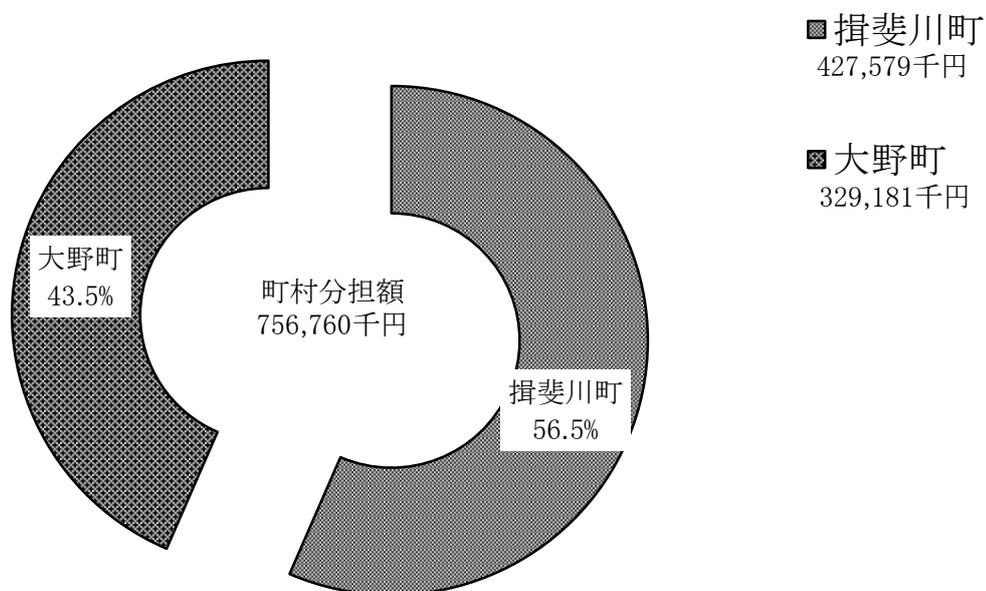
歳入歳出予算の構成比 (令和7年度)



構成町予算に占める分担金の比率(令和7年度)

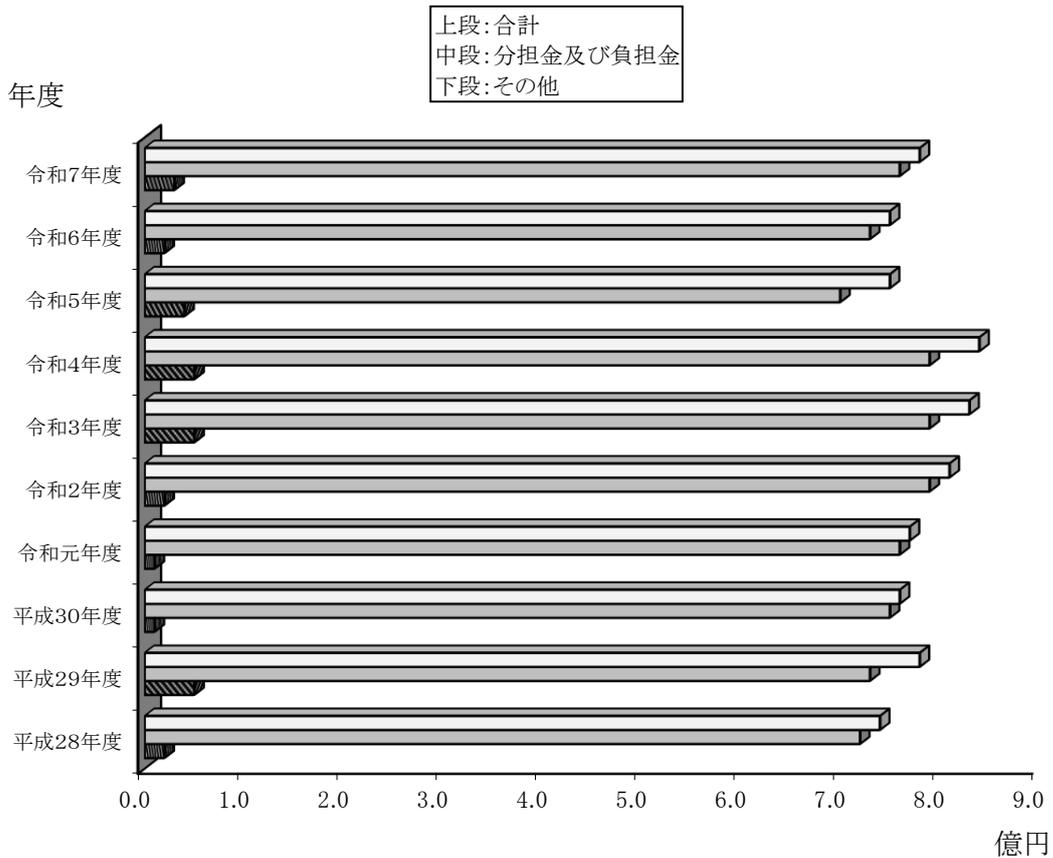


町別分担金の比率(令和7年度)



予 算 額 の 推 移

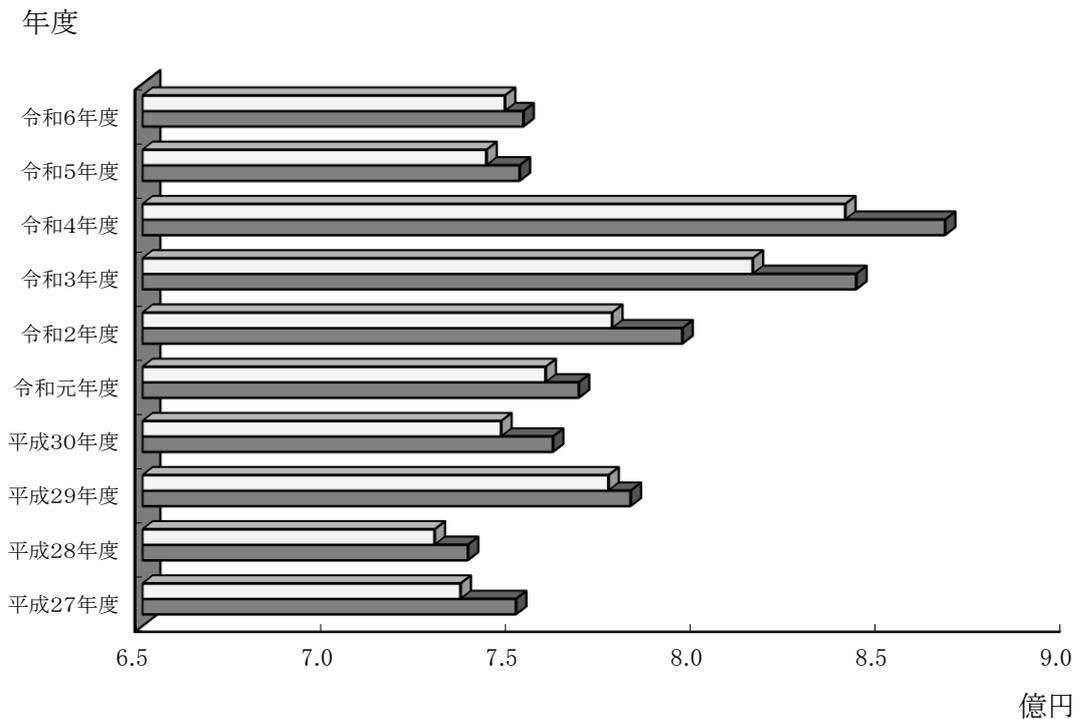
年 度 別	予 算 総 額 (千円)	分 担 金 及 び 負 担 金 (千円)	そ の 他 (千円)
平 成 2 8 年 度	739,413	719,395	20,018
平 成 2 9 年 度	778,850	732,759	46,091
平 成 3 0 年 度	758,686	745,706	12,980
令 和 元 年 度	771,761	759,089	12,672
令 和 2 年 度	805,271	786,626	18,645
令 和 3 年 度	833,920	787,449	46,471
令 和 4 年 度	837,086	788,481	48,605
令 和 5 年 度	745,402	703,373	42,029
令 和 6 年 度	750,321	727,942	22,379
令 和 7 年 度	783,943	756,760	27,183



決算額の推移

年度別	歳入決算額(千円)	歳出決算額(千円)
平成27年度	751,316	736,039
平成28年度	737,502	728,731
平成29年度	781,991	775,551
平成30年度	761,018	747,329
令和元年度	767,900	758,703
令和2年度	795,701	776,767
令和3年度	842,525	814,769
令和4年度	866,588	839,682
令和5年度	751,896	743,226
令和6年度	753,437	747,540

上段:歳出決算額
 下段:歳入決算額



4. 消 防 情 勢

揖斐川町 谷汲

◆谷汲踊

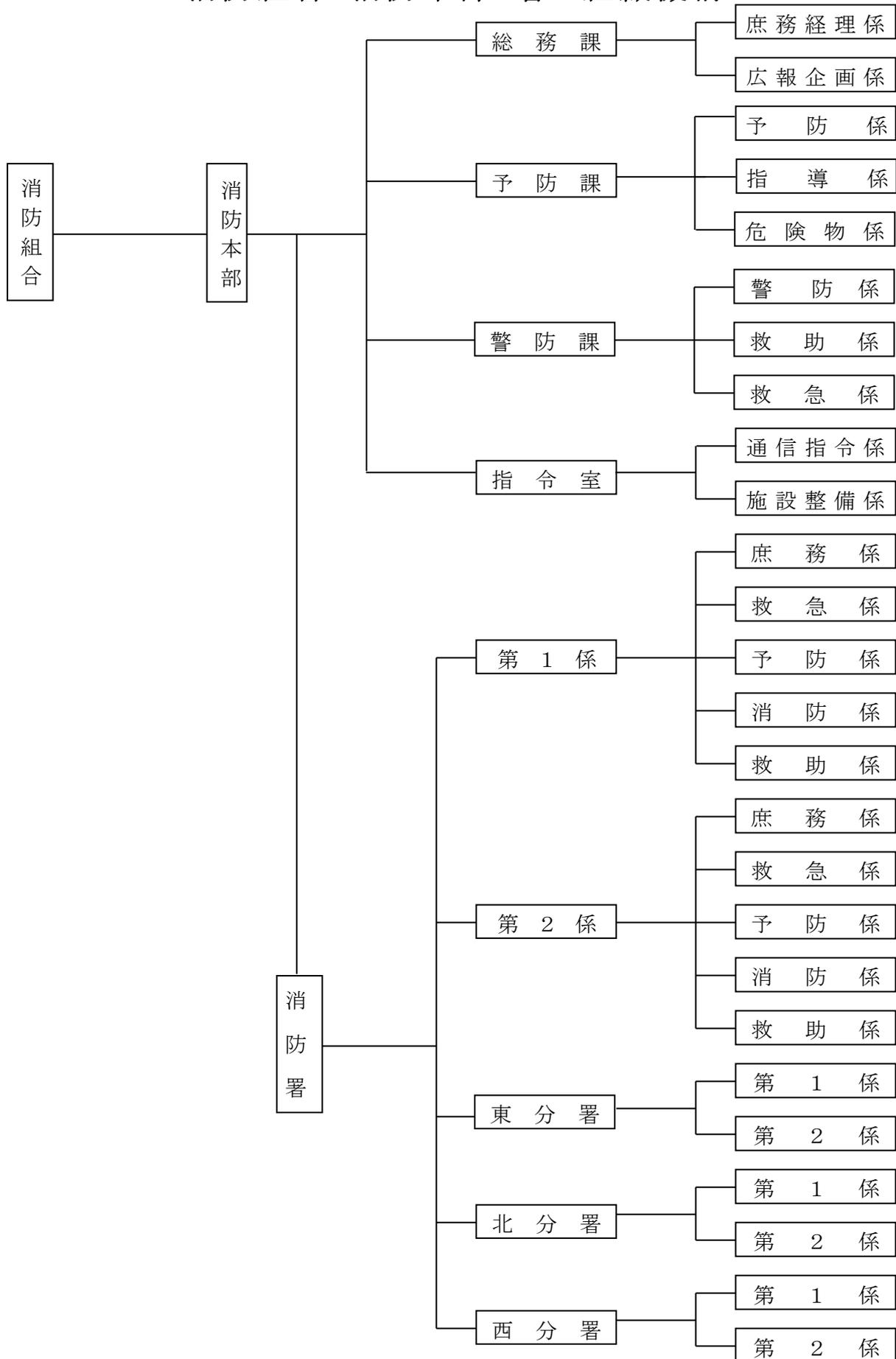
1 2人の太鼓打ちが胸先に吊るした大太鼓を打ちならし、背に負った「シナイ」を豪華に揺さぶりながら踊ります。シナイは4m程の竹を細く割り裂いて広げ、扇状に束ねて作っており、竹の1本1本には切り紙をびっしりと巻いて、華やかな縞模様になっています。

昭和33年岐阜県重要無形民俗文化財第1号の指定を受け、岐阜県を代表する郷土芸能になっています。

2月の豊年祈願祭のほか、春のさくらまつり、秋のもみじまつりのときに上演されます。



消防組合・消防本部・署の組織機構



歴代管理者・消防長・消防署長

		氏 名	在 職 期 間
管 理 者	初代	栗 野 一 雄	昭和45年 4月 1日～昭和49年 9月23日
	2代	馬 淵 勲	昭和49年 9月24日～昭和57年 3月31日
	3代	林 正 一	昭和57年 4月 1日～昭和60年12月25日
	4代	鳥 本 安 治	昭和60年12月26日～昭和61年 2月12日(職務代理)
			昭和61年 2月13日～平成 6年 2月28日
	5代	栗 田 登	平成 6年 3月 1日～平成 9年 1月31日
	6代	杉 山 茂	平成 9年 2月10日～平成17年 4月15日
	7代	宗 宮 孝 生	平成17年 4月16日～平成28年10月19日
平成28年10月20日～平成28年11月21日(職務代理)			
8代	宇 佐 美 晃 三	平成28年11月22日～現在	
消 防 長	初代	栗 野 一 雄	昭和45年 4月 1日～昭和49年 9月23日
	2代	馬 淵 勲	昭和49年 9月24日～昭和54年 3月31日
	3代	内 藤 正 武	昭和54年 4月 1日～昭和58年 5月31日
	4代	井 深 静 夫	昭和58年 6月 1日～平成 元年 3月31日
	5代	八 木 和 夫	平成 元年 4月 1日～平成 3年 3月31日
	6代	内 藤 正 臣	平成 3年 4月 1日～平成 7年 3月31日
	7代	所 千 秋	平成 7年 4月 1日～平成 9年 3月31日
	8代	松 久 時 男	平成 9年 4月 1日～平成13年 3月31日
	9代	武 藤 文 夫	平成13年 4月 1日～平成19年 3月31日
	10代	宮 川 康 太 郎	平成19年 4月 1日～平成21年 3月31日
	11代	今 村 信	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日
	12代	所 博 幸	平成22年 4月 1日～平成23年 3月31日
	13代	神 原 清 仁	平成23年 4月 1日～平成26年 3月31日
	14代	鳥 本 敏 満	平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日
	15代	野 原 讓 二	平成28年 4月 1日～令和 3年 3月31日
	16代	竹 中 幹 雄	令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日
	17代	秋 月 康 雄	令和 4年 4月 1日～現在

消 防 署 長	初代	小川 豊	昭和45年 4月 1日～昭和51年 3月31日
	2代	内藤 正武	昭和51年 4月 1日～昭和54年 3月31日
	3代	井深 静夫	昭和54年 4月 1日～昭和58年 5月31日
	4代	八木 和夫	昭和58年 6月 1日～平成 元年 3月31日
	5代	内藤 正臣	平成 元年 4月 1日～平成 3年 3月31日
	6代	羽賀 一武	平成 3年 4月 1日～平成 5年 3月31日
	7代	所 千秋	平成 5年 4月 1日～平成 8年 3月31日
	8代	関谷 透	平成 8年 4月 1日～平成11年 3月31日
	9代	浅野 光明	平成11年 4月 1日～平成13年 3月31日
	10代	所 博幸	平成13年 4月 1日～平成15年 3月31日
	11代	今村 信	平成15年 4月 1日～平成18年 3月31日
	12代	宗宮 恒男	平成18年 4月 1日～平成20年 3月31日
	13代	上野 邦男	平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日
	14代	松井 俊二	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日
	15代	杉山 光政	平成22年 4月 1日～平成24年 3月31日
	16代	鳥本 敏満	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日
	17代	竹中 幹雄	平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日
	18代	小椋 宏保	平成28年 4月 1日～令和 2年 3月31日
	19代	内藤 勝	令和 2年 4月 1日～令和 5年 3月31日
	20代	中井 幸雄	令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月31日
	21代	馬場 寿義	令和 6年 4月 1日～現在

消 防 本 部 の 事 務 分 掌

消 防	総務課	庶務 経 理 係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公印の管守に関する事。 2. 表彰に関する事。 3. 職員の公務災害補償及び福利厚生に関する事。 4. 職員の研修、講習及び教養計画に関する事。 5. 職員の共済組合、退職手当組合に関する事。 6. 人事及び服務に関する事。 7. 給与の支払い及び所得税の源泉徴収に関する事。 8. 消防用物品の購入に関する事。 9. 庶務、庁用物品の購入及び保全に関する事。 10. 財産の維持管理に関する事。 11. 消防職員委員会に関する事。 12. 他の課(係)に属しない事項に関する事。
		広 報 企 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 議会に関する事。 2. 条例、規則、規程及び例規に関する事。 3. 文書の收受、発送及び保全に関する事。 4. 予算の編成執行管理及び決算に関する事。 5. 組合消防計画に関する事。 6. 消防車両及び消防施設の整備保全に関する事。 7. 消防車両及び消防施設の整備計画に関する事。 8. 消防相互応援協定に関する事。
本 部	予防課	予 防 係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防思想の普及啓発に関する事。 2. 防火管理者資格講習に関する事。 3. 組合消防広報に関する事。 4. 火災の証明に関する事。 5. 火災統計報告及び消防年報に関する事。 6. 開発行爲の事前指導に関する事。
		指 導 係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防火対象物の違反処理に関する事。 2. 消防用設備の設置に伴う統括指導に関する事。 3. 防火対象物の公示公表に関する事。 4. 自衛消防隊の訓練指導に関する事。 5. 火災の原因及び損害調査に関する事。 6. 住宅防火診断に関する事。 7. 幼少年防火クラブの事務に関する事。
		危 険 物 係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 危険物製造所等の許認可及び検査に関する事。 2. 危険物の保安及び災害調査に関する事。 3. 危険物製造所等の立入検査及び違反処理に関する事。 4. 揖斐郡危険物安全協会の事務に関する事。 5. 液化石油ガス等意見書の作成及び指導に関する事。 6. 火薬類取締法の施行に関する事。 7. 高圧ガス保安法の施行に関する事。 8. ガス事業法の施行に関する事。 9. 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の施行に関する事。
	警防課	警 防 係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消防部隊の出動計画に関する事。 2. 災害出動部隊に関する情報収集及び指示の伝達に関する事。 3. 消防業務計画に関する事。

消 防 本 部	警防課	警防係	4. 防災関係機関との通信に関する事 5. 災害情報等の広報及び案内に関する事 6. 消防協会の事務に関する事 7. 自主防災訓練等の指導に関する事 8. 消防団との連絡調整に関する事
		救助係	1. 救助統計報告及び消防年報に関する事 2. 救助業務計画に関する事
		救急係	1. 救急等の証明に関する事 2. 救急統計報告及び消防年報に関する事 3. 救急業務計画に関する事
	指令室	通信指令係	1. 災害通報の受理に関する事 2. 出動指令に関する事 3. 指令業務に係る記録及び統計に関する事 4. 気象情報、災害情報の収集及び伝達に関する事
		施設整備係	1. 救急医療情報システムの運用に関する事 2. 消防防災通信の運用及び統制に関する事 3. 指令システムに係るコンピュータの管理及び運用に関する事 4. 通信機器の維持管理に関する事

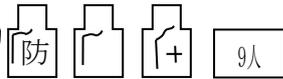
消 防 署 の 事 務 分 掌

消 防 署	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災、救助等の災害防ぎよに関する事 2. 消防、救助訓練に関する事 3. 消防用水利施設の調査、点検に関する事 4. 消防団の訓練指導に関する事 5. 消防、救助用機械器具の維持管理に関する事 6. 火災、救助活動報告に関する事 7. 職員の教養訓練に関する事 8. 公印の管守に関する事 9. 職員手当関係に関する事 10. 職員の勤務に関する事 11. 火災予防思想の普及啓発に関する事 12. 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事 13. 防火対象物の立入検査及び指導に関する事 14. 火災予防に係る各種届出書の受理に関する事 15. 火災の原因及び損害の調査に関する事 16. 救急災害活動に関する事 17. 救急活動報告書及び統計に関する事 18. 職員の救急救養訓練に関する事 19. 救急用機械器具の維持管理に関する事 20. 救急救命の普及啓発に関する事 21. その他消防長から命ぜられた事項
分 署	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災救急、救助等の災害防ぎよに関する事 2. 消防教養訓練に関する事 3. 消防用水利施設の調査、点検に関する事 4. 消防団の訓練指導に関する事 5. 消防及び救急用機械器具の維持管理に関する事 6. 防火対象物の立入検査及び指導に関する事 7. 火災予防に係る各種届出書の受理に関する事 8. その他火災予防に関する事 9. その他消防長から命ぜられた事項

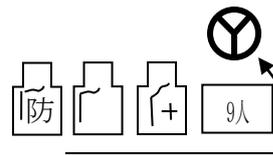
消防施設・人員の配備状況



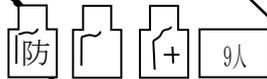
北分署



東分署



西分署



凡 例	
	機動連絡車
	消指広報車
	化学消防車
	水槽付ポンプ車
	ポンプ自動車
	消防水槽車
	救急車
	訓練指導車
	防火広報車
	連絡車
	人員搬送車
	防災広報車
	救助工作車
	輸送車
	運搬車
	小型動力ポンプ
	無線局
	配属人員

消防本部



17人
(内6名兼務)

消防署



4人

消防水利の状況

水利別		合計	揖斐川町	大野町
合計		2,544	1,361	1,183
消火栓		1,948	919	1,029
防 火 水 槽	小計	373	325	48
	100 m ³ 以上	5	4	1
	40～100 m ³ 未満	316	279	37
	20～40 m ³ 未満	52	42	10
そ の 他	小計	222	116	106
	井戸	96		96
	プール	23	13	10
	河川・溝等	89	89	
	濠・池等	13	13	

主要機械器具の配備状況

機 械 器 具 名		合 計	消 防 署	東 分 署	北 分 署	西 分 署
救	酸 素 切 断 機	1	1			
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	1	1			
	エ ア ー ソ ー	1	1			
	油 圧 カ ッ タ ー	1	1			
助	油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	1	1			
	油 圧 コ ン ビ ツ ー ル	1	1			
	チ ル ホ ー ル	1	1			
活	マ ッ ト 式 空 気 ジ ャ ッ キ	1	1			
	削 岩 機	1	1			
	救 命 策 発 射 銃	3	3			
	救 命 用 ボ ー ト	2	2			
動	船 外 機	2	2			
	縛 帯 (フルハーネス)	9	7		2	
	縛 帯 (サバイバースリング)	1	1			
	SKED ストレッチャー	1	1			
用	バーティカルストレッチャー	3		1	1	1
	レスキューフレーム	1	1			
	送 排 風 機	1	1			
	複 合 型 ガ ス 検 知 器	2	2			
救	自 動 体 外 式 除 細 動 器	6	3	1	1	1
	ア ド レ ナ リ ン 投 与 セ ッ ト	7	4	1	1	1
	ブ ド ウ 投 与 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	輸 液 用 資 器 材 セ ッ ト	5	2	1	1	1
急	挿 管 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	食 道 閉 鎖 式 エ ア ー ウ ェ イ セ ッ ト	5	2	1	1	1
	心 電 図 伝 送 装 置	0				
	自 動 車 専 用 フ ァ ッ ク ス 装 置	0				
活	自 動 式 人 工 呼 吸 器	0				
	自 動 式 胸 骨 圧 迫 装 置	2	1		1	
	喉 頭 鏡 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡	5	2	1	1	1
動	電 動 吸 引 器	5	2	1	1	1
	マ ギ ー ル 鉗 子	5	2	1	1	1
	陰 圧 式 固 定 具	5	2	1	1	1
	非 接 触 型 体 温 計	5	2	1	1	1
用	ベ ッ ド サ イ ド モ ニ タ ー	5	2	1	1	1
	12 誘 導 心 電 図 測 定 器	5	2	1	1	1
	バ ッ ク ボ ー ド	5	2	1	1	1
	ス ピ ー ド ボ ー ド	3		1	1	1
用	外 傷 セ ッ ト	5	2	1	1	1
	ア イ シ ン グ キ ッ ド	5	2	1	1	1
	分 娩 セ ッ ト	5	2	1	1	1
消 防 活 動 用	ジ ェ ッ ト シ ュ ー タ ー	52	20	9	13	10
	消 防 ホ ー ス (65ミリ)	262	120	45	49	48
	消 防 ホ ー ス (50ミリ)	136	72	26	17	21
	チ エ ン ソ ー	10	5	2	1	2
	投 光 器	11	7	1	2	1
空 気 ・ 酸 素 呼 吸 器	37	28	3	3	3	

配置車両一覧表

属所	車両名	登録番号	車名年式	排気量	ポンプ吸別等	備 考
消防本部	機動連絡車	岐阜800 せ 6726	トヨタ H26	4600cc		総務省消防庁無償貸与
	指令広報車	岐阜800 せ 2831	ニッサン H22	1997cc		
	防災広報車	岐阜301 ま 4523	トヨタ H23	1790cc		
	連絡車	岐阜301 む 6118	トヨタ H23	1790cc		
	人員搬送車	岐阜302 せ 9648	トヨタ H26	2400cc		
	訓練指導車	岐阜100 す 961	マツダ H15	2000cc		日本宝くじ協会寄贈
	運搬車	岐阜100 そ 6810	トヨタ H24	1490cc		
消防署	化学消防車	岐阜800 は 2327	日野 H27	6400cc	森田 A2	
	タンク車	岐阜800 は 1296	日野 H18	6400cc	森田 A2	国庫補助 (防災設備整備費補助)2000L
	タンク車	岐阜800 は 2190	日野 H26	6400cc	森田 A2	
	ポンプ車	岐阜800 せ 4458	日野 H24	4000cc	森田 A2	
	救助工作車	岐阜800 は 1750	日野 H22	6400cc		クレーン・照明付
	消防水槽車	岐阜800 は 2060	日野 H25	8860cc		県補助金 (市町村振興補助金)
	輸送車	岐阜830 ま 119	いすゞ H13	8220cc		クレーン
	救急車	岐阜800 そ 5601	トヨタ R4	2690cc	高規格車	
	救急車	岐阜800 そ 6533	トヨタ R5	2690cc	高規格車	
	防火広報車	岐阜430 ち 119	トヨタ H17	2490cc		
防火広報車	岐阜480 せ 3805	ダイハツ H24	650cc			
東分署	ポンプ車	岐阜800 せ 6637	日野 H26	4000cc	森田 A2	国庫補助 (緊急消防援助隊設備整備費補助)
	救急車	岐阜800 せ 5601	トヨタ H25	2690cc	高規格車	
	防火広報車	岐阜480 く 2652	ダイハツ H20	650cc		
北分署	ポンプ車	岐阜800 せ 5574	日野 H25	4000cc	森田 A2	
	救急車	岐阜800 せ 4518	トヨタ H24	2690cc	高規格車	
	防火広報車	岐阜480 た 3355	ダイハツ H25	650cc		
西分署	ポンプ車	岐阜800 せ 0678	日野 H20	4000cc	森田 A2	
	救急車	岐阜800 そ 1018	トヨタ H30	2690cc	高規格車	
	防火広報車	岐阜480 ひ 8904	ダイハツ R5	650cc		

階級別消防職員数の推移

単位:人

調査時期	消 防 機 関 の 職 員								計	事務 部局の 職員
	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 士	防 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
S45年末	(1)		1	1	2			26	30	1
S49年末	(1)	1	3	2	5			41	52	2
S55年末	1	2	2	5	15			32	57	2
S60年末		1	4	4	22			31	62	2
H5年末		1	5	10	23	15		12	66	1
H10年末		1	9	13	21	8		20	72	1
H15年末		1	9	15	22	4		26	77	1
H20年末		1	7	25	12	4		30	79	1
H25年末		1	15	13	21	6		25	81	
H30年末		1	10	23	16	12		21	83	
R1年末		1	12	22	16	14		18	83	
R2年末		1	11	24	19	14		16	85	
R3年末		1	12	23	19	16		13	84	
R4年末		1	12	26	19	14		13	85	
R5年末		1	10	27	18	12		15	83	
R6年末		1	9	30	18	8		16	82	
R7年末		1	10	34	16	8		16	85	

職 員 の 配 属 状 況

単位:人

所 属 別	消 防 機 関 の 職 員								計	事務 部局の 職員
	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 士	防 長	消 防 副 士 長	消 防 士			
消 防 本 部	1	5	4(1)	4(4)	1(1)	1	16(6)			
指 令 室		1	4	2	0	0	7			
消 防 署		1	14	3	3	14	35			
東 分 署		1	4	2	2	0	9			
北 分 署		1	4	2	2	0	9			
西 分 署		1	4	3	0	1	9			
合 計	1	10	34	16	8	16	85			

()内は兼職数 (☆ 消防吏員一人あたりの管内人口 約458人)

消防職員勤続年数

単位:人

勤続年数	消 防 機 関 の 職 員							事務部局 の 職 員
	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	
36年以上			2				2	
35年以上							0	
34年以上		1					1	
33年以上		2					2	
32年以上			2				2	
31年以上	1	2					3	
30年以上							0	
29年以上		2	2				4	
28年以上			2				2	
27年以上			3				3	
26年以上		2	1				3	
25年以上		1	2				3	
24年以上			3				3	
23年以上			1				1	
22年以上							0	
21年以上							0	
20年以上			1				1	
19年以上			2				2	
18年以上			5				5	
17年以上			2	1			3	
16年以上			3	1	1		5	
15年以上			2	4			6	
14年以上			1	3	1		5	
13年以上				1	1		2	
12年以上				4			4	
11年以上				2	1		3	
10年以上					1	1	2	
9年以上					1	1	2	
8年以上					2		2	
7年以上							0	
6年以上							0	
5年以上						1	1	
4年以上						2	2	
3年以上						3	3	
2年以上						3	3	
1年以上						1	1	
1年未満						4	4	
計	1	10	34	16	8	16	85	

中途退職者は除く。

平均勤続 年:月	31:08	30:05	23:07	14:04	11:10	3:08	17:11	
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	--

年齢別消防職員数

単位:人

年齢 (歳)	消 防 機 関 の 職 員						計	事務部局 の職員
	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
61							0	
60			1				1	
59							0	
58							0	
57							0	
56	1	2	1				4	
55							0	
54		1					1	
53							0	
52		1					1	
51		2	3				5	
50		2					2	
49		1					1	
48			4				4	
47		1	3				4	
46			3				3	
45			2				2	
44			1				1	
43			1				1	
42			4				4	
41			3				3	
40			3				3	
39			2	1			3	
38			1		1		2	
37			1	2			3	
36			1	3			4	
35				2			2	
34				6	1		7	
33				1	1		2	
32				1	2		3	
31						1	1	
30							0	
29					2		2	
28					1	1	2	
27						1	1	
26							0	
25						3	3	
24						2	2	
23						3	3	
22						2	2	
21							0	
20						1	1	
19						1	1	
18						1	1	
計	1	10	34	16	8	16	85	0
平均年齢 年:月	56:07	52:02	45:07	35:04	32:03	24:02	39:01	

消防職員特技資格調

(単位：人)

資 格 種 別	消防機関の職員							計	事務局 の職員
	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士			
大型自動車免許		10	33	15	8	7	73		
中型自動車免許	1		1	1			3		
普通自動車免許						9	9		
自動二輪車免許		4	18	10	1	3	36		
大型特殊免許		3	4				7		
牽引免許		1	2	1			4		
陸上特殊無線技師	1	10	34	16	8	16	85		
甲種危険物取扱者									
乙種危険物取扱者	1	8	29	14	8	12	72		
防火管理者資格									
予防技術者検定(消防設備等)		3	4				7		
予防技術者検定(危険物)		3	5		1		9		
予防技術者検定(防火査察)		4	10	2	2	1	19		
救急救命士	1	6	15	5	2	4	33	85	
救急科修了者(旧標準課程)		3	17	11	6	12	49		
救急Ⅱ課程修了者		1	2				3		
応急手当指導員修了者	1	9	33	15	8	3	69		
特定化学物質等作業主任者		2	4				6		
潜水土免許		8	24	10	3	2	47		
日赤水難救助員		1	7	2			10		
ガス溶接技能講習			3	2			5		
アーク溶接作業特別講習		3	3	1			7		
小型移動式クレーン技能講習		7	33	16	8	4	68		
玉掛技能講習		7	27	16	8	4	62		
2級小型船舶操縦士	1	9	26	5	1	1	43		
2級小型船舶(湖川小出力限定)									
特殊小型船舶操縦士			1				1		
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		3	16	9	4	1	33		
チェーンソー作業従事者			8	2			10		
特別管理産業廃棄物管理責任者			2	1		1	4		
第1種衛生管理者免許		1		1			2		
足場の組立等作業主任者		1	11	3			15		
地震体験車取扱い講習			19	11	6	9	45		
巻き上げ機運転特別教育			7	2	3	1	13		
消防設備士			2	1			3		
ロープ高所作業特別教育講習		6	33	16	8	10	73		
高所作業車特別教育			1				1		
小型車両系建設機械特別教育			4			1	5		
防災士			2				2		
二等無人航空機操縦士			2				2		

消 防 相 互 応 援 協 定 の 状 況

協 定 の 種 類	協 定 の 相 手 方	締 結 年 月 日 (初 度)
消防相互応援協定	大垣消防組合	昭和46年12月15日
消防相互応援協定	南越消防組合	平成 4年10月22日
消防相互応援協定	湖北地域消防組合	平成18年 4月 1日
消防相互応援協定	岐阜市	平成20年 3月28日
消防相互応援協定	大野市	平成23年 1月 1日
岐阜県広域消防相互応援協定	岐阜県の市町村、消防の一部事務組合及び消防を含む一部事務組合	平成 3年 3月11日
岐阜県内の高速道路等における消防相互応援協定	名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道及び東海環状自動車道とにおける岐阜県内の通過市町村を管轄する消防本部	令和 2年11月4日

5. 予 防 統 計

揖斐川町 春日



◆かすがモリモリ村リフレッシュ館

伊吹山麓でとれた薬草をふんだんに使った「薬草風呂」、木の香り漂う「伊吹の湯」、本格岩風呂の「八千代の湯」が体験できるほか、四季折々の薬草と新鮮な食材の「薬膳料理」も楽しめる。

利用時間 10:00～21:00

休業日 水曜日

☎ 0585-58-0001



◆森の染織工房

春日森の文化博物館に隣接する体験施設。地域に自生する薬草を使って染色が楽しめる。見学は自由。体験希望の方は要予約。

利用時間 9:00～17:00 休館日 水曜日

☎0585-58-3111

◆さざれ石公園

国歌「君が代」に詠まれているさざれ石は、日本の七高山、伊吹山のふもとにあり、学名を石灰質角礫岩と言います。



火災予防条例等に基づく各種届出の状況

(H28～R7)

届 出 種 別	28年	29年	30年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
防火対象物使用開始届	21	14	19	20	50	8	6	14	15	16
消防設備等の工事計画届	19	12	19	20	13	21	23	16	19	19
炉 設 置 届	4	2	2	1		3	9	1	2	2
ボ イ ラ ー 設 置 届	4	7	5	10	4	1	8	3	1	2
乾 燥 設 備 設 置 届	4	4	1	3		2	2		7	2
給 湯 設 備 設 置 届	3			1	1	3		2		3
温 風 暖 房 機	1			2		3		2		
サ ウ ナ 設 備										2
変 電 設 備 設 置 届	6	9	6	13	5	2	5	8	17	3
燃 料 電 池 発 電 設 備										
発 電 設 備 設 置 届	7	3	4	2	6	1	1	2	4	
蓄 電 池 設 備 設 置 届	5	2	8	13	14	12	4	6	6	3
ネオン管灯設備設置届										
水素ガスを充填する気球の設置届										
火災とまぎらわしい煙又は火炎を 発するおそれのある行為届	85	78	79	57	58	67	56	53	34	40
煙火打ち上げ又は仕掛け届	13	13	16	16	5	11	5	7	5	4
催 物 開 催 届	52	53	55	48	21	20	30	43	33	39
水 道 断 ・ 減 水 届										
道 路 工 事 届	454	554	573	508	514	552	640	554	529	575
少量危険物貯蔵取扱い届	28	10	18	13	14	9	12	19	21	8
指定可燃物の貯蔵取扱い届	5	2	1	1			3	2	2	4
圧縮アセチレンガス等の貯蔵 又は取扱の開始届	15	15	9	22	8	21	11	13	7	11
露店等の開設届出書	38	39	34	40	9	5	9	25	11	28
合 計	764	817	849	790	722	741	824	770	713	761

消防用設備等着工・設置の状況

(H28～R7)

設 備 別	28年	29年	30年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
屋 内 消 火 栓 設 備	6	1	1	3		2			4	1
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	2	4		1	2			1	2	
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備 (窒 素)										
泡 消 火 設 備										
二 酸 化 炭 素 消 火 設 備										
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備										
粉 末 消 火 設 備	2	1	1				2	1	1	
屋 外 消 火 栓 設 備				1		1	1		1	
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	5	5	3	2	1				1	1
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			1	1						
自 動 火 災 報 知 設 備	42	28	19	23	17	15	17	20	25	24
漏 電 火 災 警 報 器										
非 常 警 報 設 備	11	5	2	6	1	2	2	4	1	2
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	6	18	7	4	2	3		5	7	7
避 難 は し ご ・ す べ り 台			1							
救 助 袋 ・ 緩 降 機										
誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識	24	15	11	9	5	5	5	9	13	9
合 計	98	77	46	50	28	28	27	40	55	44

政令で定める防火対象物の町別数

(単位:件)

業 態 別		揖 斐 川 町	大 野 町	合 計	査 察 件 数	
1	イ	劇場、映画館、演芸場等	1	1	2	1
	ロ	公会堂、集会場	16	14	30	19
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ				
	ロ	遊技場、ダンスホール		3	3	1
3	イ	待合、料理店の類	6		6	2
	ロ	飲食店	38	21	59	19
4		百貨店、マーケット	22	30	52	35
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	16		16	10
	ロ	寄宿舍、共同住宅、下宿	28	23	51	10
6	イ	病院、診療所等	18	11	29	12
	ロ	福祉施設等(主に入所)	11	13	24	23
	ハ	福祉施設等(主に通所)	18	24	42	29
	ニ	幼稚園、特別支援学校	2	1	3	3
7		小、中、高等学校	15	12	27	22
8		図書館、博物館等	10	2	12	10
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場	5	1	6	4
10		車両の停車場				
11		神社、寺院、教会	8	5	13	9
12	イ	工場、作業場	74	75	149	81
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	2	1	3	2
	ロ	飛行機の格納庫				
14		倉庫	24	31	55	23
15		前各号に該当しない事業所	131	32	163	68
16	イ	特別の複合用途防火対象物	24	22	46	23
	ロ	イ以外の複合防火対象物	9	1	10	5
17		文化財		2	2	
19		管理者の指定する山林	1		1	
合 計			479	325	804	411

政令で定める防火対象物の状況

(H28～R7)

業 態 別		28年	29年	30年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1	イ 劇場、映画館、演芸場等	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	ロ 公会堂、集会場	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
2	イ キヤハ`レー、カフェー、ナイトクラブ`										
	ロ 遊技場、ダンスホール	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3	イ 待合、料理店の類	8	8	8	8	8	8	7	6	6	6
	ロ 飲 食 店	28	26	26	26	58	57	57	57	58	59
4	百貨店、マーケット	54	53	53	53	53	52	52	52	51	52
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	18	17	17	17	17	16	17	16	16	16
	ロ 寄宿舎、共同住宅、下宿	58	56	55	52	52	50	50	50	51	51
6	イ 病院、診療所等	25	28	28	28	28	27	27	28	29	29
	ロ 福祉施設等（主に入所）	23	25	25	24	24	24	24	24	24	24
	ハ 福祉施設等（主に通所）	41	39	39	38	37	39	39	39	40	42
	ニ 幼稚園、特別支援学校	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
7	小、中、高等学校	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
8	図書館、博物館等	11	12	12	12	14	12	12	12	12	12
9	イ 蒸気浴場、熱気浴場										
	ロ イ以外の公衆浴場	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
10	車両の停車場										
11	神社、寺院、教会	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
12	イ 工場、作業場	140	142	143	141	143	140	145	146	148	149
	ロ 映画スタジオ、テレビ`スタジオ`										
13	イ 自動車車庫、駐車場	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
	ロ 飛行機の格納庫										
14	倉 庫	50	51	52	52	52	53	55	55	55	55
15	前各号に該当しない事業所	157	156	156	158	158	160	160	160	160	163
16	イ 特別の複合用途防火対象物	24	23	24	31	45	44	44	46	46	46
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	9	8	8	10	10	10	10	10	10	10
17	文 化 財	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
19	管理者の指定する山林	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計		734	732	734	738	788	782	789	791	796	804

用途別・工事別建築同意件数

(単位:件)

用 途 別	新 築	増 築	改 築	そ の 他	合 計
集 会 場	1				1
飲 食 店					
店 舗					
店 舗 併 用 住 宅	1				1
旅 館 ・ ホ テ ル	1				1
共 同 住 宅	2				2
病 院 ・ 診 療 施 設					
児 童 福 祉 施 設					
幼 稚 園					
学 校					
図 書 館					
工 場 ・ 作 業 場	1	5			6
作 業 場 併 用 住 宅					
車 庫	1				1
倉 庫		2			2
事 務 所	9	4			13
専 用 住 宅	1	4			5
そ の 他	1	1			2
合 計	18	16			34

月別・工事別・構造別 建築同意件数

(単位:件)

月別	合計	工事別				構造別			
		新築	増築	改築	その他	木造	鉄骨造	リ ー 鉄 筋 コ ン ト ン 造	ブ ロ ン ク リ ー ク ロ ン 造
1月	3	1	2				3		
2月	2	1	1			1	1		
3月	5	4	1			4	1		
4月	4	1	3			4			
5月	4	4				4			
6月	2	2				2			
7月	1		1				1		
8月	2	1	1				2		
9月	1	1					1		
10月	5	3	2			2	3		
11月	1		1				1		
12月	4		4			1	3		
合計	34	18	16			18	16		

町別危険物施設数

施 設 別	合 計	揖斐川町	大 野 町	査 察 件 数		
総 数	239	152	87	150		
製 造 所	1		1	1		
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	17	6	11	9	
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	39	21	18	30	
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	15	11	4	8	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	58	47	11	41	
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2		1	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	34	24	10	20	
	屋 外 貯 蔵 所	8	5	3	1	
	小 計	174	116	58	111	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	営 業 用	17	9	8	8
		自 家 用	26	15	11	17
	販 売 取 扱 所	1		1		
	一 般 取 扱 所	21	12	9	14	
	小 計	65	36	29	39	

危険物製造所等の許可・検査の状況

(単位:件)

施設別		設置許可	変更許可	水張検査	水圧検査	完成検査 (含変更)
製造所						
貯蔵所	屋内貯蔵所					
	屋外タンク貯蔵所					
	屋内タンク貯蔵所					
	地下タンク貯蔵所		1			1
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	1				1
	屋外貯蔵所					
	小計	1	1			2
取扱所	給油		2			2
	取扱所		1			1
	販売取扱所					
	一般取扱所		1			1
	小計		4			4
合計		1	5			6

危険物仮貯蔵承認申請等の状況

(単位:件)

申請・届出種別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
危険物仮貯蔵・取扱申請	5	2		1	1	4	1	2	2	3
危険物製造所等廃止届	2	13	6	8	9	6	4	3	6	3
危険物種類・数量変更届	1	3	6	1	2	1	1	3		1
危険物製造所等譲渡・引渡届	1		3			1		2	1	
危険物保安監督者選・解任届	12	22	9	12	18	7	4	27	11	21
危険物製造所等仮使用承認申請	3	4	7	5	5	5	3		1	4
合計	24	44	31	27	35	24	13	37	21	32

6. 火 災 統 計

揖斐川町 久瀬



◆夫婦滝

夏には岩肌に初々しい木々の緑を、秋には燃え立つ紅葉を映して仲良く並ぶ二つの滝。白糸が舞うような華麗な姿に時の経つのを忘れます。



◆月夜谷ふれあいの里

ソバ打ち、米や野菜の収穫、魚釣り、こんにゃく作り、わら細工など豊かな自然の中で思いっきり田舎暮らしを満喫できます。

☎ 0585-54-2081



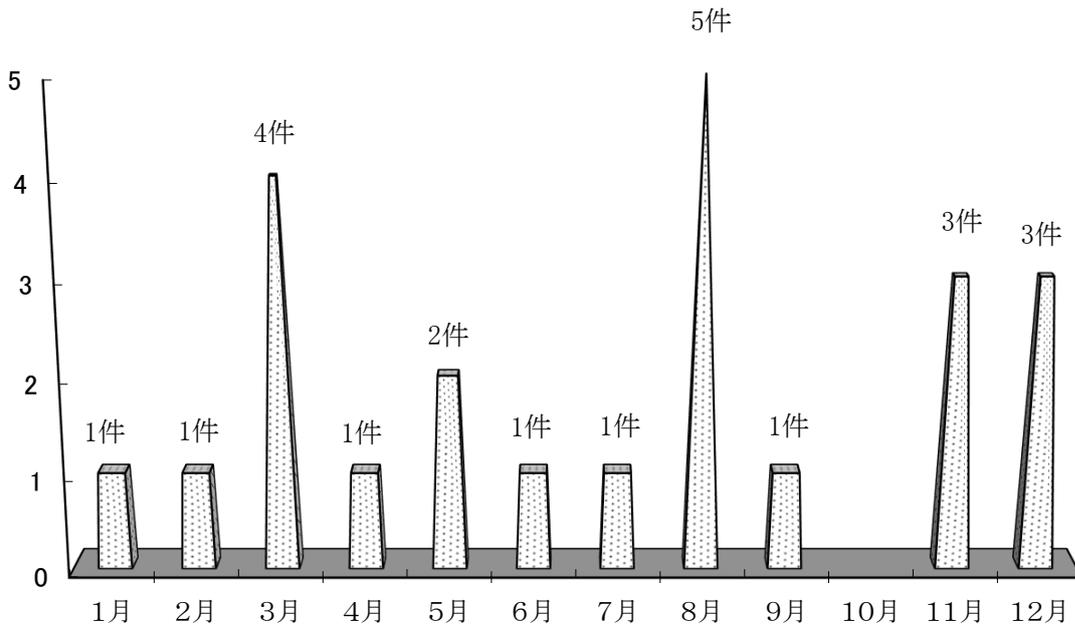
町別火災状況

区分		令和7年	令和6年	比較	町別	
					揖斐川町	大野町
出火件数		23	15	8	9	14
火災種別	建物	13	4	9	3	10
	林野	2	1	1	1	1
	車両	2	3	△1	2	
	その他	6	7	△1	3	3
焼損棟数	全焼	6	3	3	2	4
	半焼	3		3		3
	部分焼	7		7	3	4
	ぼや	2	2			2
焼損面積	建物					
	床面積 m ²	952	109	843	222	730
	表面積 m ²	67		67	35	32
	林野	6	16	△10	6	
死者(人)						
負傷者(人)						
罹災世帯数		8	2	6	1	7
罹災区分	全損	3	2	1		3
	半損	1		1		1
	小損	4	1	3	1	3
罹災人員(人)		17	5	12	2	15
損害額	建物(千円)	33,149	10,443	22,706	4,527	28,622
	林野(千円)					
	車両(千円)	5,050	1,650	3,400	5,050	
	その他(千円)		1,490	△1,490		
	合計(千円)	38,199	13,583	24,616	9,577	28,622

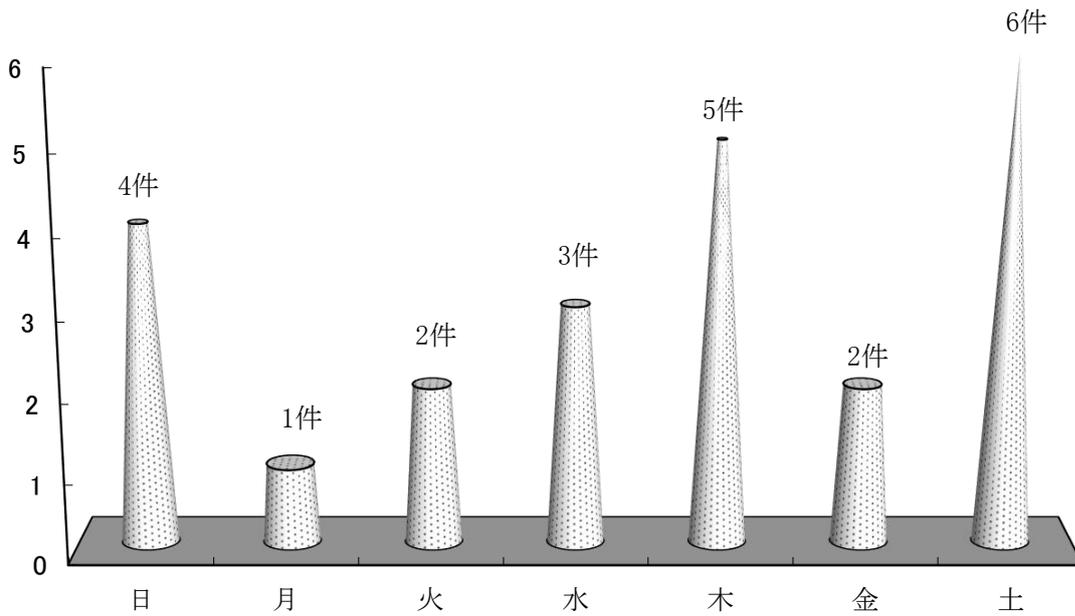
参考

1日当たりの平均出火件数	約	0.06件
1日当たりの平均損害額	約	104,655円
火災1件当りの損害額	約	1,660,826円
1世帯当りの損害額	約	2,370円
1人当りの損害額	約	971円
出火率(人口1万人当りの火災件数)	約	5.678件

月別火災件数



曜日別火災件数



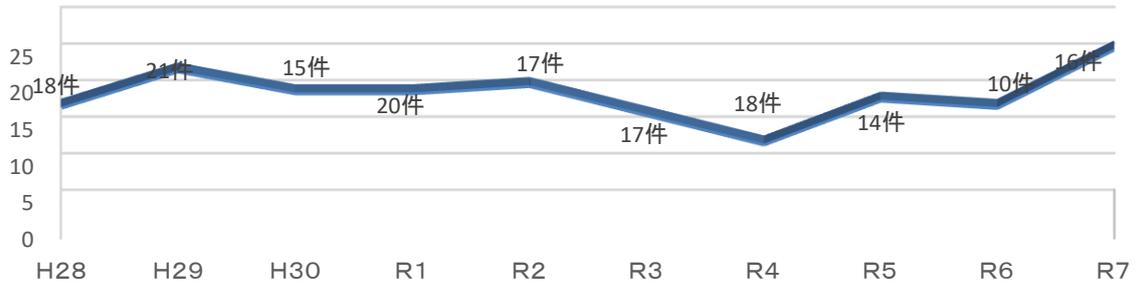
出火時間別火災状況

区分 時間	合計	建物	林野	車両	その他	建物m ²	林野 a	死者	負傷者	損害額 (千円)
	23	13	2	2	6	952	6			38199
0～1										
1～2										
2～3										
3～4										
4～5	1	1								355
5～6										
6～7										
7～8	1	1								
8～9										
9～10	3	2		1		162				4,295
10～11	1	1								189
11～12	1			1						
12～13	2	2				108				11,817
13～14	4	2			2	294				4,827
14～15	2	1	1				6			16
15～16	1				1					
16～17	2	1	1			34				342
17～18	1				1					
18～19	1	1				166				12,362
19～20										
20～21	1	1				188				3,996
21～22										
22～23										
23～24	1				1					
不明	1				1					

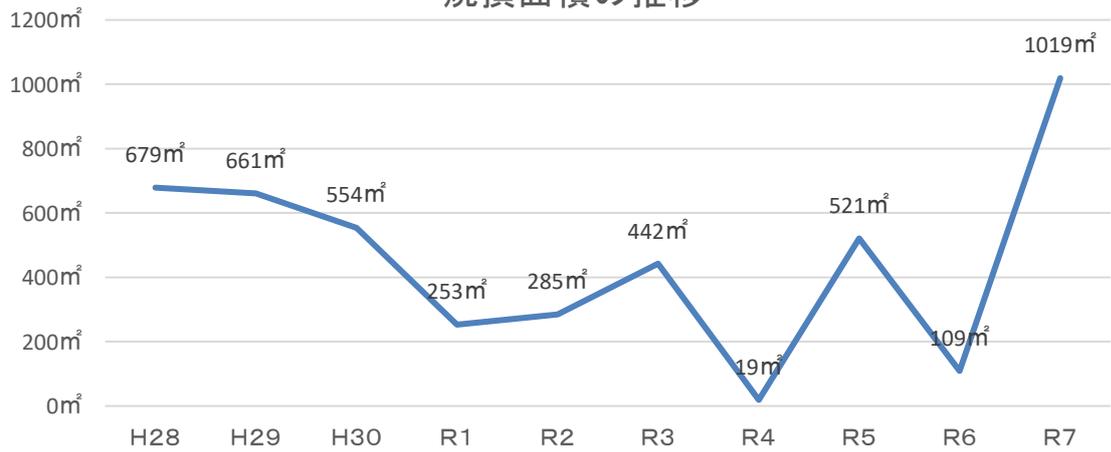
月別火災状況

区 分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数	23	1	1	4	1	2	1	1	5	1		3	3
火災種別	建物	13		1	1	1	2		3			3	2
	林野	2						1	1				
	車両	2	1		1								
	その他	6			2			1	1	1			1
焼損棟数	18		1	1	1	2			3			4	6
焼損区分	全焼	6			1				2			1	2
	半焼	3				1	1					1	
	部分焼	7		1					1			1	4
	ぼや	2					1					1	
焼損面積	建物 床面積㎡	952			12	77	85		200			294	284
	建物 表面積㎡	67		5	12				11			1	38
	林野(a)												
死傷者	死者(人)												
	負傷者(人)												
罹災世帯数	8		1		1	1			2				3
罹災程度	全損	3				1			1				1
	半損	1				1							
	小損	4		1					1				2
損害額(千円)	38,199	50	16	5,000	1,783	2,462			12,893			5,182	10,813
火災種別	建物 建物	33,149		16		1,783	2,462		12,893			5,182	10,813
	建物 収容物												
	林野												
	車両	5,050	50		5,000								
	その他												

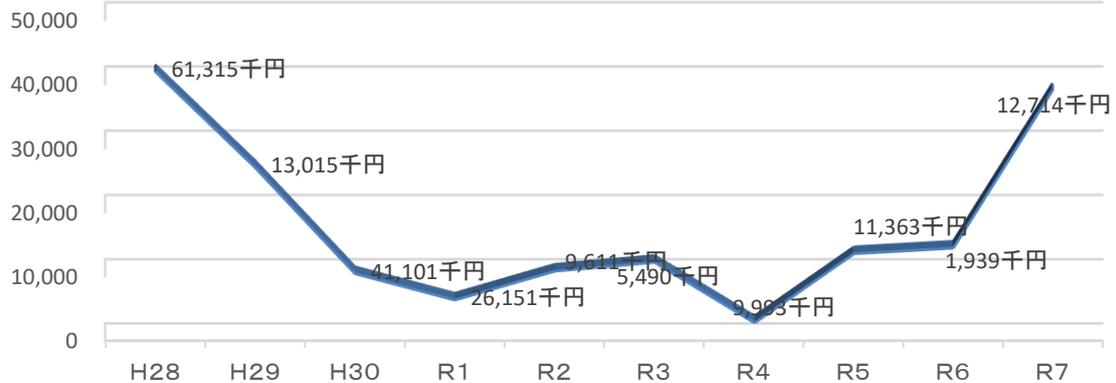
火災件数の推移



焼損面積の推移



損害額の推移



原因別火災件数

出 火 原 因	火 災 件 数 (件)
油 か す	1
ガ ス コ ン ロ	1
焼 却 炉	
煙 突	
放 火	
放 火 の 疑 い	
た き 火	1
電 気 機 器	1
火 の つ い た ゴ ミ	1
取 灰	
ラ イ タ ー	1
消 し 炭 薪	
た ば こ	1
配 線 機 器	1
石 油 ス ト ー プ	
枯 草 焼 き	5
そ の 他	
不 明	10
調 査 中	
合 計	23

四季別火災状況

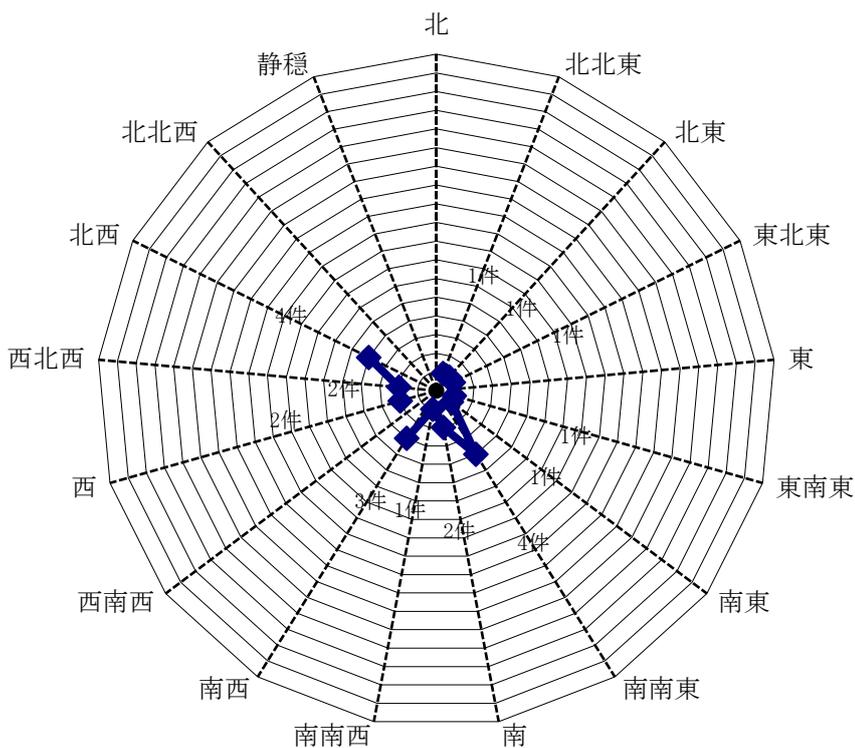
季 節		火災件数(件)	焼 損 面 積		損 害 額 (千 円)
			建物火災 (㎡)	林野火災 (a)	
春季	3・4・5月	7	174		9,245
夏季	6・7・8月	7	200	6	12,893
秋季	9・10・11月	4	294		5,182
冬季	12・1・2月	5	284		10,879
合 計		23	952	6	38,199

町別火災発生件数の状況

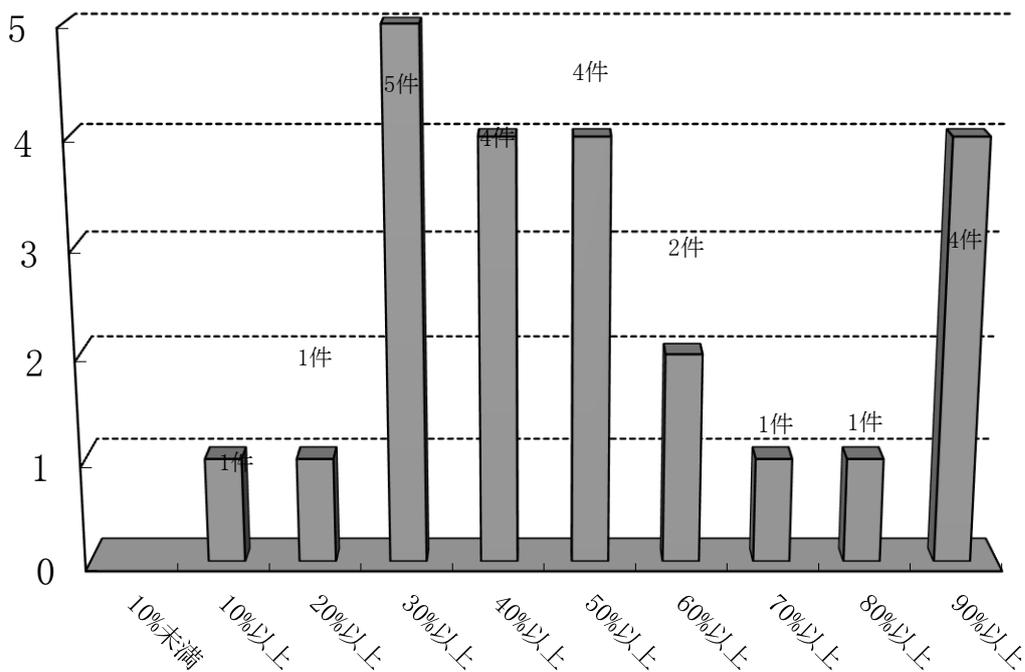
H28～R7累計

年	町 計	揖 斐 川 町	大 野 町
平成28年	15	8	7
平成29年	20	14	6
平成30年	17	13	4
令和1年	17	10	7
令和2年	18	10	8
令和3年	14	6	8
令和4年	10	5	5
令和5年	16	11	5
令和6年	15	10	5
令和7年	23	9	14
計	165	96	69

風向別火災発生状況



湿度別火災発生状況



7. 救 急 統 計

揖斐川町 藤橋



平成15年秋にオープンした「徳山民俗資料収蔵庫」をはじめ、特産物販売やしいたけ栽培、レストラン「星のふる里」、いび川温泉「藤橋の湯」など多彩な施設がある。

営業時間 9:00～18:00(特産物販売施設) 8:30～17:30(レストラン)

11:00～16:30(そば処藤橋庵)

☎ 0585-52-2020

◆徳山ダム



揖斐川をせき止めて建設された日本一の総貯水量を誇る雄大なダム。貯水量は、なんと浜名湖の約2倍の6億6,000万立方メートル！ダム堤頂の長さは新幹線「のぞみ号」の16車両(400メートル)を超える427メートル

町別救急件数

		令和 7 年	令和 6 年	増 減	合 計	揖斐川町	大野町	管 外
出 場 件 数		2,333	2,300	33	2,333	1,097	1,233	3
搬 送 件 数		2,183	2,171	12	2,183	1,021	1,162	
搬 送 人 員		2,212	2,191	21	2,212	1,029	1,183	
出 場 件 数 の 内 訳	火 災	2	1	1	2	1	1	
	自然災害							
	水 難	5	6	△ 1	5	1	1	3
	交通事故	231	186	45	231	93	138	
	労働災害	23	24	△ 1	23	10	13	
	運動競技	7	7		7	4	3	
	一般負傷	393	380	13	393	193	200	
	加 害	1	3	△ 2	1		1	
	自損行為	13	11	2	13	9	4	
	急 病	1,425	1,460	△ 35	1,425	718	707	
	そ の 他	233	222	11	233	68	165	
	計	2,333	2,300	33	2,333	1,097	1,233	3
不 搬 送		150	129	21	150	76	71	3

平均出場件数

6.39 件／1日

平均搬送人員

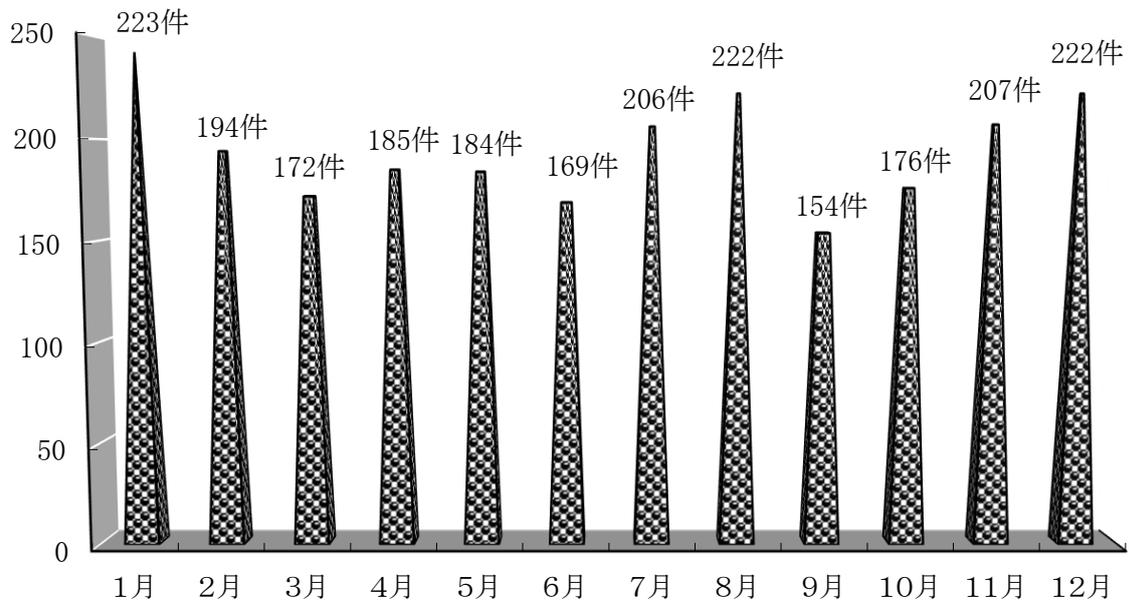
6.06 人／1日

管内人口に占める救護人員の比率

5.61 %

(年間20人に1人を搬送)

月別救急件数



曜日別救急件数

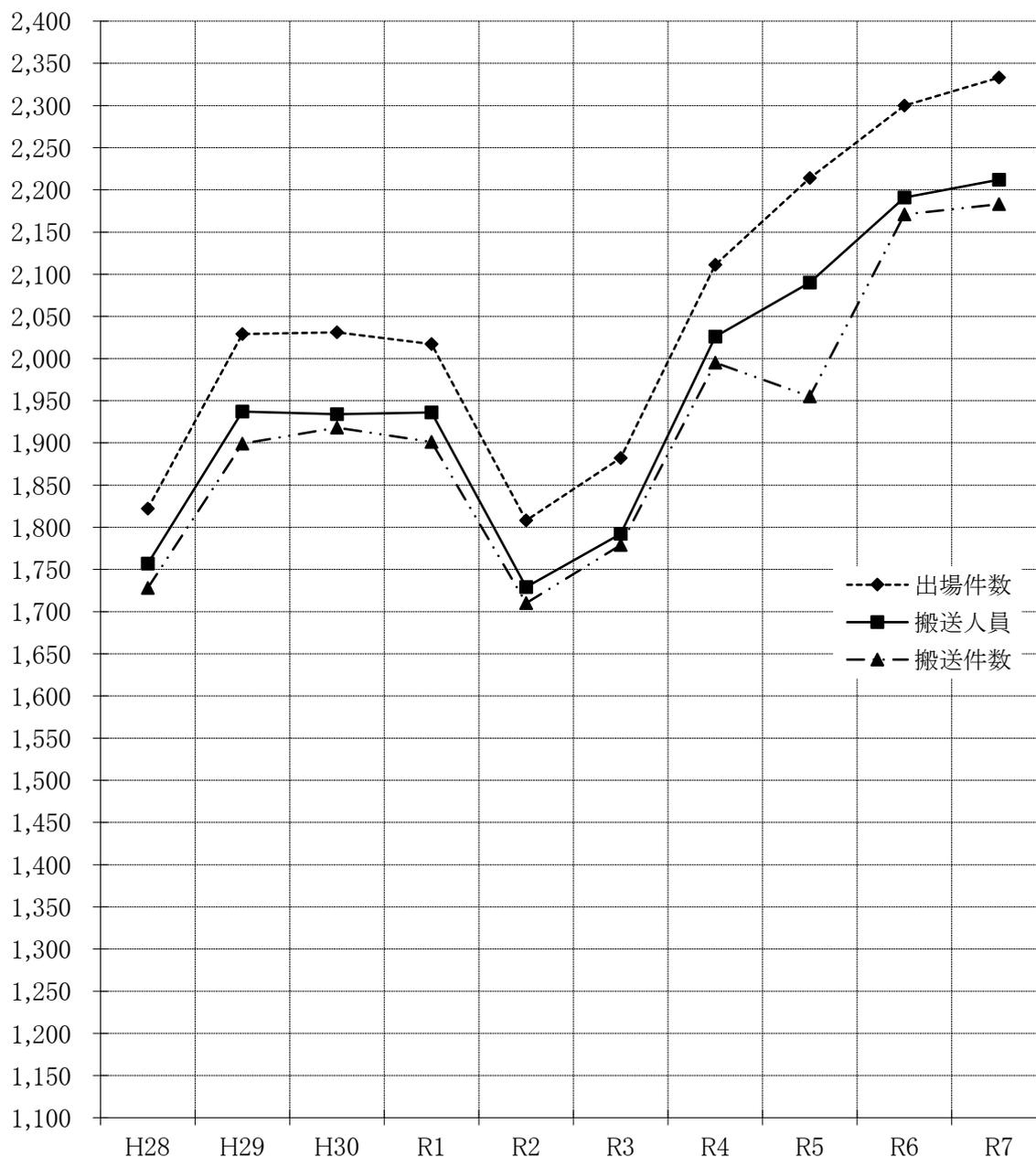
合計	日	月	火	水	木	金	土
2,333	311	357	303	354	317	354	337

性別・年齢別・程度別救護人員

性別	合計	年齢別									程度別				
		新生児	乳幼児	7才	18才	25才	35才	45才	55才	65才以上	死亡	重症	中等	軽症	その他
男性	1,130	1	30	43	34	28	40	80	99	775	3	138	635	354	0
女性	1,082	0	20	26	30	26	36	48	68	828	4	117	646	315	0
合計	2,212	1	50	69	64	54	76	128	167	1,603	7	255	1,281	669	0

救急件数の推移

平成28年～令和7年

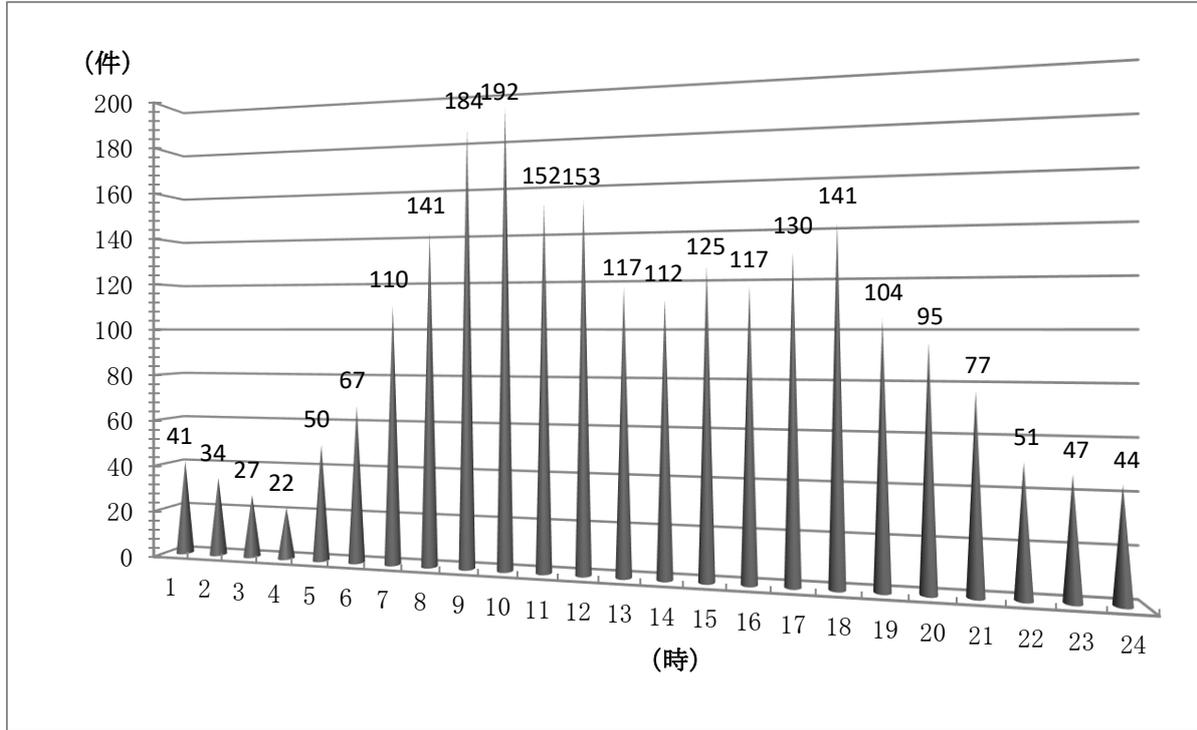


	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
出場件数	1,822	2,029	2,031	2,017	1,808	1,882	2,111	2,214	2,300	2,333
搬送人員	1,757	1,937	1,934	1,936	1,729	1,792	2,026	2,090	2,191	2,212
搬送件数	1,728	1,899	1,918	1,901	1,710	1,779	1,995	1,955	2,171	2,183

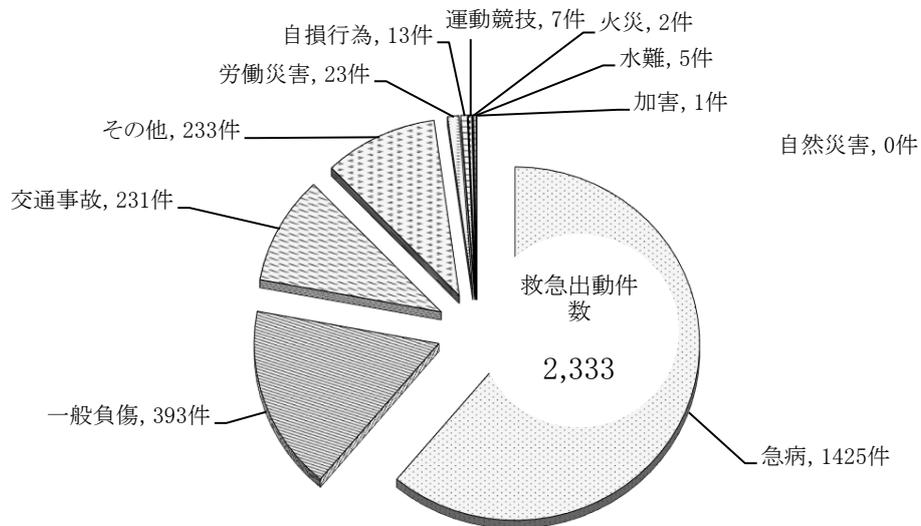
覚知別救急出動件数

119番	緊急通報	加入電話	かけつけ	自己覚知	その他	合計
2,216	23	43	34	0	17	2,333

時間別救急出動件数



救急出動件数の内訳



救急講習等実施状況

突然の事故や病気で家族や知り合いの人が倒れたとき、救急車や医師が到着するまでの間に、現場に居合わせた人がいかに適切な応急手当を行うかによって、倒れた人の予後に大きな影響を与えることは医学的にも実証され、また、一般住民のAED(自動体外式除細動器)の使用が可能となり救命率の向上が見込まれているところです。

この救急車が到着するまでの僅かな時間に、その場にいる人が適切な応急手当ができるよう、積極的に応急手当の講習会を開催しています。

区 分		合計	事業所	消防団	女性 防火	学校 PTA	その他 の団体	
合 計	回 数	110	29			27	54	
	人 員	1,856	471			624	761	
救命講習	上級救命 講習	回 数	1			1		
		人 員	11			11		
	普通救命 講習 I	回 数	15	4			3	8
		人 員	127	67			15	45
	普通救命 講習 III	回 数						
		人 員						
	救命入門 コース	回 数	3	3				
		人 員	36	36				
救命講習以外 の救急講習	回 数	91	22			23	46	
	人 員	1,682	368			598	716	

緊急通報システム

(設置状況)

町別 区分	揖斐川町	大野町	合計
利用者数	93	49	142

(受信状況)

町別 処置別	揖斐川町	大野町	合計
救急	11	5	16
火災			
誤報	16	5	21
合計	27	10	37



8. 救 助 統 計

揖斐川町坂内



夜叉ヶ池と伝説



八太夫という長者が、照り続きの村を救いたいと何気なく蛇に、雨を降らせてくれたら娘を嫁にやると約束します。ところがその夜本当に雨が降り、末娘お夜叉は山上の池で竜神の妃となるのでした・・・。

伝説の池「夜叉ヶ池」は、今も福井県との県境、三周ヶ岳の頂上近くエメラルドグリーンの水面をたたえ静かにたたずんでいます。

◆道の駅「夜叉ヶ池の里さかうち」

美しい山や川、新鮮な空気に囲まれた道の駅。岐阜県の西端に位置し、滋賀県長浜市木之本町まで30分。恵まれた気候風土の中で育った野菜や地域でとれたジビエを活用した料理や特産品を取り揃えております。

営業時間 8:00～17:00

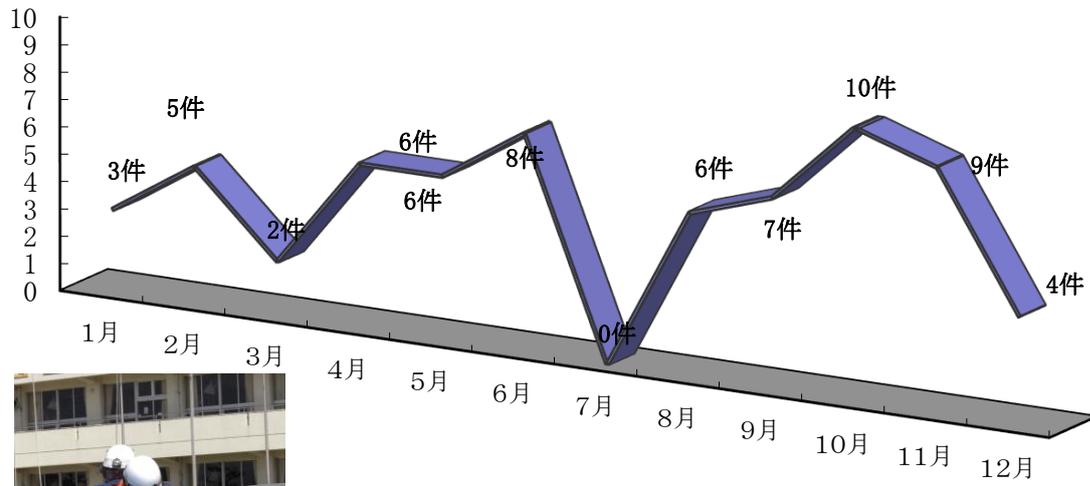
休業日 水曜日※祝日の場合は翌日定休日

所在地 揖斐川町坂内広瀬 306

町別救助件数

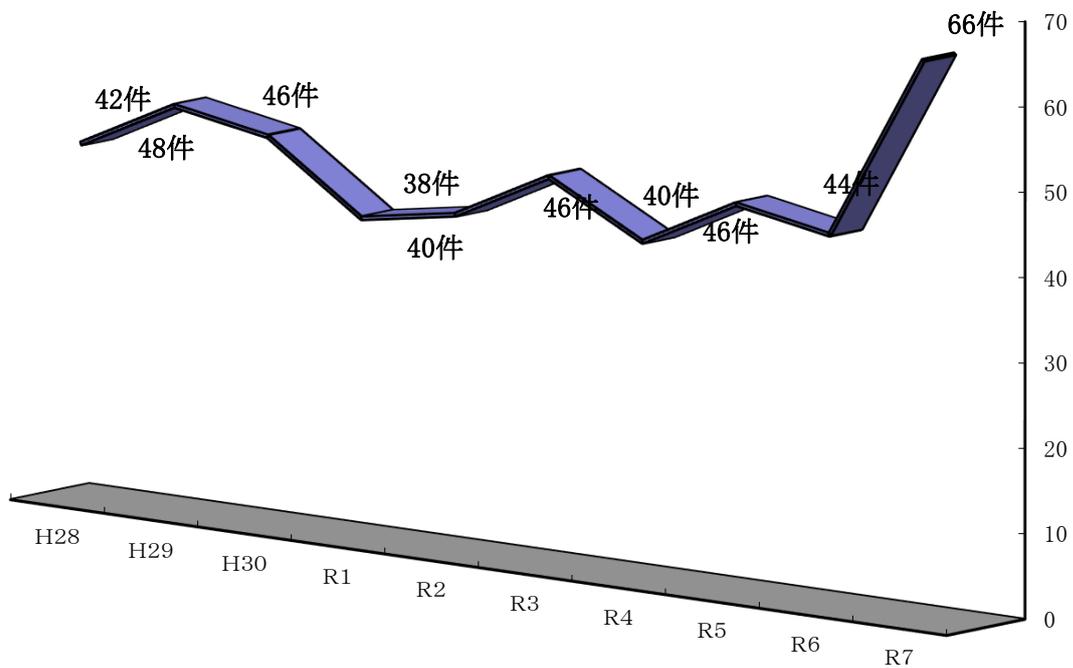
区 分 種 別		令 和 7 年	令 和 6 年	増 減	町 別		
					揖 斐 川 町	大 野 町	管 外
計	救 助 出 動 件 数	66	44	22	30	36	
	救 助 活 動 件 数	33	24	9	15	18	
	救 助 人 員	36	26	10	18	18	
救 助 活 動 件 数 の 内 訳	火 災						
	交 通 事 故	13	8	5	3	10	
	水 難 事 故	2	3	△ 1	1	1	
	風水害等自然災害						
	機械による事故						
	建物等による事故	3	4	△ 1	1	2	
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他 の 事 故	15	9	6	10	5	
	計	33	24	9	15	18	

月別救助件数



救助件数の推移

(平成28年～令和7年)



9. 消 防 団 ・ 防 火 ク ラ ブ 等



管内消防団の消防力

消防団名	条例定員	実員	消防ポンプ (タンク) 自動車	小型動力 ポンプ付積載車	小型動力 ポンプ
揖斐川町町 消防団	600人	557人	18台	29台	29台
大野町 消防団	160人	152人	7台	2台	2台
合計	760人	709人	25台	31台	31台



幼年消防クラブの状況

町村別	名 称	クラブ結成年月日	クラブ員数	指導者数
揖 斐 川 町	揖斐幼稚園幼年消防クラブ	S56.10.15	167人	52人
	いび幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	49人	7人
	きよみず幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	31人	5人
	おじま幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	55人	7人
	やまと・きたがた幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	76人	9人
	たにぐみ幼児園幼年消防クラブ	S56.10.15	31人	6人
大 野 町	豊木認定こども園幼年消防クラブ	S56.10.15	85人	36人
	大野こども園幼年消防クラブ	S58.4.1	27人	25人
	認定こども園うぐいす幼年消防クラブ	S51.4.1	57人	14人
	東さくらこども園幼年消防クラブ	S56.10.15	80人	22人
	大野町西こども園幼年消防クラブ	S56.10.15	54人	18人
合計	11 クラブ		712人	201人

少年消防クラブの状況

町村別	名 称	クラブ結成年月日	クラブ員数	指導者数
揖 斐 川 町	揖斐小学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	43人	1人
	清水小学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	18人	1人
	大和小学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	41人	1人
	北方小学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	35人	1人
	小島小学校少年消防クラブ	H 2 . 11 . 5	64人	1人
	揖斐川中学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	248人	1人
	北和中学校少年消防クラブ	H 4 . 4 . 24	123人	1人
	谷汲小学校少年消防クラブ	S 58 . 8 . 25	32人	1人
	谷汲中学校少年消防クラブ	S 47 . 4 . 1	45人	1人
小計	9 クラブ		649人	9人
大 野 町	西小学校少年消防クラブ	S 53 . 4 . 1	47人	1人
	中小学校少年消防クラブ	S 60 . 2 . 18	55人	1人
	大野小学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	102人	1人
	北小学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	41人	1人
	東小学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	84人	1人
	南小学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	52人	1人
	大野中学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	460人	1人
	揖東中学校少年消防クラブ	H 4 . 7 . 13	145人	1人
小計	8 クラブ		986人	8人
合 計	17 クラブ		1635人	17人